

高岡市立博物館年報

第 31 号

平成 28 年度

高岡市立博物館

は じ め に

高岡市立博物館は、当地の歴史・民俗・伝統産業にかかる資料の収集・保管、展示、また調査研究や教育普及など、さまざまな事業の継続と充実に努めています。平成28年度、当館では多岐にわたる事業を実施しました。

まず展示事業として常設展「高岡ものがたり－楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアム－」（通年開催）では、高岡の歴史・民俗・伝統産業の分かりやすい紹介に努め、常設展内の「お宝コーナー」では、「春の絵画」、「久保田米僊筆《海陸戦闘図》」、「東郷元帥と乃木大将の書」、「アニメ映画《この世界の片隅に》パネル展」を順次開催しました。企画展「幕末維新風雲通信 ～将軍家医師・坪井信良より兄佐渡養順への手紙～」（4～5月）では、高岡最古の町医者・佐渡家の貴重な資料を初公開展示しました。特別展「高岡市平和都市宣言10周年記念 戦時下の暮らし」（7月～10月）では、耐乏が強いられた戦時下での生活資料などを展示し、平和の大切さを改めて認識してもらう機会としました。また、上記特別展会期中に新たに寄贈を受けた資料が多くあったことから、企画展「緊急延長！新たに寄贈された戦時下資料」（10月～平成29年1月）を開催しました。平成29年2月より開催した館蔵品展「新資料展」では、近年新たに収蔵された博物館資料を展示・紹介しました。

教育普及事業としては、郷土学習講座「高岡を知る」（3講）、古文書講座「初めての古文書教室」（6講）、館職員によるミニ講座「高岡のみじかい話」（12講）のほか、桜の時期に合わせた屋上開放「古城公園展望台」、呈茶の会「松聲庵－博物館で抹茶を楽しみませんか－」（春・秋）を開催しました。

そのほか、高岡の歴史・民俗・伝統産業に関する資料の収集や、調査研究についても一層の充実に努めました。これまでに調査が終了した資料台帳の内容を精査し、当館収蔵資料情報のデジタル化を進め、前年度と合わせて669件の資料情報をインターネット上で公開しました。

地域の歴史と文化の継承という博物館の任務には、決して終わりはありません。それは幅広い方々のご理解、ご協力があってこそ、初めて可能になります。職員一同、さらに親しまれる博物館を目指して努力を重ねて参ります。日頃からのご協力に厚くお礼を申し上げますとともに、今後とも当館事業に一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成30年3月

高岡市立博物館
館長 新井 雅夫

目 次

I 事業の状況

1 展示事業

- (1) 常設展「高岡ものがたりー楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアムー」 …… 1
- (2) 企画展「幕末維新風雲通信
～将軍家医師・坪井信良より兄佐渡養順への手紙～」 …… 1
- (3) 特別展「高岡市平和都市宣言10周年記念 戦時下の暮らし」 …… 2
- (4) 企画展「緊急延長！新たに寄贈された戦時下資料」 …… 8
- (5) 館蔵品展「新資料展」 …… 11

2 教育・普及活動

- (1) 郷土学習講座「高岡を知る」(全3回) …… 16
- (2) 展示説明会 …… 18
- (3) 古文書講座「初めての古文書教室」(全6回) …… 18
- (4) ミニ講座「高岡のみじかい話」(全12回) …… 19
- (5) ワークショップ等 …… 19
- (6) 刊行物の発行 …… 20
- (7) 団体見学、展示解説対応 …… 21
- (8) 他団体への協力 …… 22
- (9) レファレンス …… 26
- (10) インターネットによる広報・普及 …… 26

3 収集・保存活動

- (1) 購入資料 …… 26
- (2) 寄贈資料 …… 27
- (3) 保存活動 …… 31

4 調査・研究活動 …… 31

5 高岡市立博物館に親しむ会との連携 …… 31

II 管理運営の状況

- 1 職員名簿 …… 35
- 2 歳出予算 …… 35
- 3 高岡市立博物館協議会 …… 35
- 4 高岡市立博物館条例 …… 36
- 5 高岡市立博物館条例施行規則 …… 37
- 6 入館者数 …… 38
- 7 当館関連記事一覧 …… 39

III 施設の状況

- 1 沿革 …… 40
- 2 施設概要 …… 41
- 3 利用案内 …… 43

I 事業の状況

1 展示事業

(1) 常設展「高岡ものがたりー楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアムー」

〔会期〕平成28年4月1日(金)～平成29年3月31日(金) 〔308日間・通年開催〕

〔会場〕本館第1・2常設展示室、休憩室

〔趣旨・内容〕

高岡の歴史、祭礼などの民俗、銅器・漆器などの伝統産業について、分かりやすい紹介に努めている。「お宝コーナー」では時宜に合わせて展示替えを行うなど、絶え間ない発信に努め、展示の充実を図った。

(1) 「春の絵画」(4月3日～5月22日)

(2) 「久保田米僊筆《海陸戦闘図》」(7月23日～8月28日)

(3) 「東郷元帥と乃木大将の書」(9月9日～10月10日)

(4) 「アニメ映画《この世界の片隅に》パネル展」(10月22日～平成29年1月15日)

(5) 「絵画にみる高岡の風景」(平成29年3月30日～3月31日。次年度6月4日まで開催)

〔展示資料〕(平成19年度年報に掲載)

(2) 企画展「幕末維新風雲通信 ～将軍家医師・坪井信良より兄佐渡養順への手紙～」

〔会期〕平成28年4月1日(金)～5月6日(水・振休) 〔32日間〕

〔会場〕新館第1・3企画展示室

〔趣旨・内容〕

高岡最古の町医者・佐渡家の由緒書や前田利長・利常書状、佐渡家の婦人薬をはじめ、初公開となる坪井信良より高岡の兄に宛てた書簡類、信良が福井藩主・松平春嶽より拝領し佐渡家に贈った文房具や、大槻磐溪・小石元瑞・坪井信道など著名な学者らの書などを展示・紹介した。平成28年2月6日より、年度をまたいで開催したもの。

〔展示資料〕(平成27年度年報に掲載)



チラシ・ポスター



展示風景

(3) 特別展「高岡市平和都市宣言10周年記念 戦時下の暮らし」

〔会期〕平成28年7月23日(土)～10月10日(月・祝) 〔69日間〕

〔会場〕新館第1・3企画展示室

〔趣旨・内容〕

平成18年3月20日、高岡市は「平和都市宣言」を議決し、今年はこの宣言から10周年となる。これを記念し、耐乏が強いられた戦時下での生活資料などを展示し、平和の大切さを改めて認識してもらう機会とした。

〔印刷物〕

- ・ポスター (B2版、片面4色刷、400枚)
- ・チラシ (A4版、両面4色刷、6,000枚)
- ・パンフレット (A4版、4色刷、総頁数12、1,000部)

〔展示資料〕計117件261点

1. 戦場への道

No.	資料名称	年代	点数	寸法 (縦×横,cm)	備考	所蔵
1	充員・臨時招集令状 (レプリカ)	昭和前期	2	—	在郷軍人・国民兵などを召集する命令文書。淡い赤色に染められていたの で、俗に「赤紙」といった	個人
2	『軍隊手牒』	昭和17年 (1942)発行	1	12.9×9.0	兵士が携行した手帳	当館
3	奉公袋	—	1	30.8×19.8	兵士が入営の際に軍隊手牒や召集令 状・勲章・記章などを入れておくため の袋	当館
4	帝国在郷軍人 奉公袋	—	1	29.4×22.6	在郷軍人とは、兵役を終えるなどした 軍人のこと。有事の際には召集された	当館
5	日の丸寄せ書き	—	3	—	死を覚悟して出征する兵士に、親戚・ 職場・隣近所の人たちが寄せ書きして 贈った	和田美寿子氏、 当館
6	祝入営のぼり旗	—	3	—	出征兵士を見送る際に掲げられたもの	当館
7	梶原町出征兵士送迎旗	—	1	144.4×179.2	町内から出征する兵士を送迎する際の 祝宴などに使用されたと思われる	当館
8	写真「出征兵士」	昭和初期	1	—	戦局が激しくなるにしたがって、毎日 のように出征兵士の見送りがあった	高岡市
9	写真「日中戦争時の出征 祝」	昭和12年 (1937)	1	—	出征する兵士を中心に、大日本国防婦 人会員らをも交えた盛大な壮行会の様 子	当館
10	写真「出征兵士の見送 り」	昭和戦中	1	—	町内の人々や市の関係者が出征兵士を 町をあげて激励した	高岡市
11	「聖戦下之世界大展覽 図」	昭和17年 (1942)	1	155.8×152.6	日本軍の「最大進出線」に近い図。東 亜文化振興研究会編纂	神保成伍氏
12	図囊・背囊	—	2	—	陸軍士官用。図囊は地図などを入れた 小型かばん	当館
13	双眼鏡	—	1	幅13.1	陸軍尉官用。倍率8倍	当館
14	軍用防寒手袋	—	2	—	革製。手首部分の裏地には毛皮が使用 されており、防寒効果を高めている	当館
15	包帯包	—	1	幅9.0×奥行 7.0×高3.7	日本陸軍の支給品。消毒液を染み込 ませたガーゼと三角巾を使って止血する	当館

16	航空頭巾・飛行眼鏡	－	2	－	頭巾の額の部分には丸い革が縫い付けられ、陸軍を示す星型の飾り縫いがされている	当館
17	将校用軍帽	－	1	幅23.0×奥行26.5×高9.7	陸軍将校用。明治45年制式の「四五式」	当館
18	少尉用肩章・襟章	－	4	－	陸軍少尉用。肩章は明治45年に制定され、昭和13年（九八式）に襟章に変更された	当館
19	昭和刀 銘 川村正信（刻印「関」）	昭和12～16年（1937～41）	1	全長83.3×刃渡り62.7	岐阜県関町（現関市）で作られた軍刀	当館
20	尉官用正刀帯	－	1	－	陸軍将校（幹部）が礼装時に着用する大礼服の腰に装着するベルト	当館
21	下士官用長靴	－	2	－	乗馬用のブーツ	当館
22	陸軍編上靴	－	4	－	右は下士官用で表革、左が兵用で裏革（バックスキン）になっている	当館
23	軍服（夏衣・袴）	夏衣昭和20年（1945）製、袴同16年（1941）製	2	－	陸軍兵用の軍服。共に広島陸軍被服支廠（現存）での検定がなされている	和田美寿子氏
24	防暑帽	昭和18年（1943）製	1	－	陸軍兵用。内部に竹が使用されており、型崩れしにくい丈夫な作りとなっている	当館
25	歩兵将校用ゲートル	－	2	－	ズボンの裾を押さえて、足首から膝まで覆うもの。巻脚絆ともいう	当館
26	防寒靴	昭和18年（1943）製	2	－	陸軍軍装品。防寒効果を高めた靴。底部に「九六式」とある	当館
27	水筒	－	2	－	尉官用と下士官兵用	神保成伍氏、 当館
28	背囊・雑囊	－	2	－	陸軍兵用軍装品。雑囊はショルダーバッグ	和田美寿子氏
29	飯盒	昭和15年（1940）製	1	幅20.3×高14.5	炊飯器を兼ねる弁当箱。アルミ製。二合炊き	当館
30	軍服（夏衣）	昭和20年（1945）製	1	着丈63.0×肩幅43.0×袖丈54.5	陸軍兵下士官用の軍服。昭和18年に制定された「三式」という型式。戸出物産株式会社製	当館
31	軍服（冬衣）	昭和15年（1940）製	1	着丈70.0×肩幅42.0×袖丈51.0	陸軍下士官兵用の軍衣。昭和13年（皇紀2598年）に制定されたので「九八式」という	当館
32	兵隊盃	昭和前期	2	－	除隊した兵士がお祝いに配ったもの。漆器	当館
33	陸軍第九師団除隊記念徳利・盃	昭和前期	4	－	陸軍第九師団の山砲第九連隊の砲弾型と、背に爆弾を背負った兵隊型	当館
34	昭和六年乃至九年事変従軍記章授与状	昭和12年（1937）7月7日	1	32.3×42.1	満州・上海事変に従軍した陸軍獣医中尉に賜与されたもの	当館
35	昭和六年乃至九年事変金百七拾五円授与状	昭和12年（1937）7月7日	1	28.3×22.7	満州・上海事変における勲功により陸軍獣医中尉に授与されている	当館
36	記章	－	3	－	昭和六年乃至九年事変従軍記章、紀元二千六百年祝典記念章、大東亜戦争記念之章。上記獣医宛	当館

37	支那事変従軍記章授与状	昭和15年 (1940) 4月29日	1	22.2×30.7	昭和14年7月27日に制定された「支那事 変従軍記章令」(勅令第496)によって授 与されたもの	当館
38	勲八等瑞宝及び金九拾円 授与状	昭和15年 (1940)4月29 日	1	29.9×41.8	支那事変における勲功により陸軍輜重 兵二等兵に授与されている	当館
39	記章	—	2	—	支那事変従軍記章、勲八等瑞宝章。上 記二等兵宛	当館
40	写真「戦死者町葬」	昭和7年 (1932)	1	—	上海事変で爆死した海軍一等機関兵曹 を送る公葬	当館
41	写真誌にみる戦局の推移	昭和6～20年 (1931～45)	15	—	昭和6年の満州(中国東北地域)事変から 同20年の終戦にいたる各種写真誌	神保成伍氏、 当館
42	軍事郵便	昭和14～16年 (1939～41)	15	—	高岡市下川原町出身で陸軍に召集され た赤田友市氏(1918～2015)より家族宛 て(全22通)	当館
43	軍事郵便	昭和戦中	2	—	満州の部隊に属する兵隊からの軍事郵 便	神保成伍氏
44	海軍報国号献納飛行機 「荒野日本晴号」関係資 料	昭和19年 (1944)	4	—	高岡市の酒造業荒野権四郎氏が10万円 を寄付して献納した艦上爆撃機(報国 2866号)	当館
45	戦時下国債類購入や貯金 の雑誌広告、各種債券・ 通帳類	昭和戦中	20	—	戦争が拡大すると軍事費は膨大化し、 それを賄うため政府は増税や貯蓄奨励 のほか、各種の戦時国債を多発した	神保成伍氏、 当館

2. 戦時下の人々の暮らし

No.	資 料 名 称	年 代	点数	寸法 (縦×横,cm)	備 考	所 蔵
1	写真「大日本国防婦人会 の奉仕活動」	昭和10年 (1935)	1	—	婦人会の活動は、慰問袋の作成・傷病 兵の慰問・千人針の奉仕・兵士の送迎 など多岐にわたった	高岡市
2	写真「大日本国防婦人会 (高岡市成美婦人会)」	昭和前期	1	—	背景の建物に「高岡市医師会」「富山 県高岡保険相談所」などの看板がみら れる	当館
3	写真「タスキがけの愛国 婦人会員」	昭和戦中	1	—	慰問袋に慰問品を入れている愛国婦人 会員たち	高岡市
4	モンペ	—	1	丈87.0	女性用の袴。第二次世界大戦中には女 性の活動着としてなかば強制的に着用 が義務づけられた	当館
5	「愛国婦人会」・「大日 本国防婦人会」タスキ	—	2	—	白い割烹着にタスキ掛けが銃後の女性 のユニフォームであった	当館
6	千人針	昭和戦中	2	—	弾除けのお守り。千人の女性に一針ず つ縫い玉をつけてもらった	当館
7	大東亜まち針	昭和戦中	1	5.8×10.0	包み紙に「進め一億火の玉だ」と記さ れている	神保成伍氏
8	国民精神総動員絵はがき	昭和12～15年 (1937～40) 頃	3	—	「時局ポスター展」入選作。国民精神 総動員中央連盟発行	当館
9	写真「戦勝祈願する市 民」	昭和戦中	1	—	学校をはじめ各種団体が勝利を信じ、 射水神社に参拝した	高岡市
10	写真「高岡市内での防火 演習」	昭和10～20年 (1935～45)	2	—	大福院通り(神子坂)と思われる	高岡市

11	写真「高岡市内での防火演習」	昭和16年(1941)頃	1	－	伏木湊町。屋根の上までバケツリレーをしている	高岡市
12	国民服（乙号）・儀礼章「八紘一字」佩用	－	2	－	軍服と同じカーキ(国防)色で、儀礼章をつければ礼服となった	当館
13	国民服・国民帽・紙製メガホン・防空団腕章・ゲートル	－	7	－	腕章には「高岡・旅籠町／防空団／防火」とある	当館
14	救護班・防空団副団長腕章	昭和戦中	2	－	高岡市救護班(高岡警察署)と、高岡市旅籠(旅籠)町の防空団副団長の腕章	神保成伍氏、 当館
15	警防団制服	昭和戦中	1	着丈57.7× 身幅45.0× 袖丈49.5	富山県射水郡二塚警防団(灯火管制部)の団員に支給されたもの	当館
16	『警防手帳』	昭和16年(1941)4月1日交付	1	12.1×8.5× 厚1.0	警防団は昭和14年に設立された民間の消防や防災・防空のために組織された団体	当館
17	防毒マスク	昭和16年(1941)	1	幅18.0× 奥行9.5× 高14.0	警防団用の隔離式と民間人用の直結式の二種類があった。防空訓練などのために常備していた	当館
18	写真「防毒講習会」	昭和戦中	1	－	毒ガスが撒布された場合を想定して開かれた	高岡市
19	写真「防護団事務所」	昭和16～20年(1941～45)頃	1	－	高岡市定塚町4丁目にあった防護団事務所	当館
19	写真「防護団事務所」	昭和16～20年(1941～45)頃	1	－	高岡市定塚町4丁目にあった防護団事務所	当館
20	防護団事務所看板	－	1	176.0×26.1 ×厚2.8	上記の写真の左側に写る看板	当館
21	折畳式電灯カバー・遮光幕	昭和戦中	2	－	電灯カバーには様々な種類があった	当館
22	金属供出広報ビラ「戦場に活かす銃後の鉄と銅」	昭和戦中	1	24.8×26.5	富山県・大政翼賛会・戦時物資活用協会の連名	当館
23	戦時下代用品	昭和戦中	8	－	陶製の湯たんぽ、釜、国策湯たんぽ、錘、水筒、おろし金、紙製の爪掛(履物の爪先カバー)	神保成伍氏、 当館
24	写真「戦争のための金属回収」	昭和戦中	1	－	金属が供出されると鍋釜などの生活必需品をはじめ、あらゆる物の代用品が陶器や紙・木・竹などで作られた	高岡市
25	国産奨励新興工業展覧会・附設廃品回収利用展覧会 出品目録	昭和13年(1938)9月8日～12日	1	19.5×54.1	戦時の経済変革期に対処した振興製品の誕生と、代用品の奨励普及振興のために開催された展覧会の出品目録	当館
26	「銅像代用 二宮金次郎 九谷陶像の葉」	昭和16～20年(1941～45)	1	18.3×45.0	九谷陶像製作所製。戦時下の代用品として二宮金次郎像が九谷焼で作られた	当館
27	写真「戦場の模様を高岡銅器工場で製造」	昭和16年(1941)5月	1	－	上海忠霊塔苑内の忠霊碑の彫刻部分が高岡銅器業界に発注され、工費6万円、故銅10トンが特配された	高岡市
28	戦時下のレコード	－	6	－	勇ましい軍歌や愛国心を高める歌が盛んに作られた	神保成伍氏
29	隣組（隣保組）回覧板	昭和戦中	1	21.9×18.7	高岡文化協会が「節米対策三ヶ條」を示して、配給制による米不足に対処させている	神保成伍氏
30	隣組歌詞茶碗	昭和戦中	3	－	「隣組」は岡本一平作詞、飯田信夫作曲で、歌は徳山璉。昭和15年(1940)6月17日発売	神保成伍氏

31	SPレコード『隣組』	昭和15年 (1940) 6月17日発売	1	径25.0	隣組を宣伝啓発する内容の歌であり、 歌詞には隣組の利点などが歌われている	神保成伍氏
32	愛国うちわ	昭和13年 (1938)頃	1	36.3×22.8	昭和13年発売の「愛国行進曲」(作詞： 森川幸雄、作曲：瀬戸口藤吉)の1番の 歌詞が書かれている	当館
33	文化ニュース劇場ポス ター	昭和16年 (1941)6月	1	54.0×38.5	「参戦か？不介入か？アメリカ軍備を 覗く」とあり、当時の関心事がうかが える	当館
34	衣料切符	戦中～戦後	3	－	昭和17年(1942)から点数制の衣料切符 による配給統制が開始された	神保成伍氏、 当館
35	各種の購入票	戦中～戦後	8	－	配給制は昭和15年(1940)に六大都市を 中心にまずマッチと砂糖から始まった	当館
36	『主婦之友』	昭和17年 (1942) 2～4月	3	－	「大東亜戦争特輯 決戦生活号」、「同 決戦家庭経済号」、「決戦下の家庭教育 号」	当館
37	『日本婦人』第2巻第8号	昭和19年 (1944) 9月1日発行	1	20.9×15.0	「完全待避は勝利の第一歩」として、 完全待避壕、特に「掩蓋」の作り方を 記している。大日本婦人会発行	神保成伍氏
38	防空頭巾	－	2	－	空襲の戦火から身を守るための頭巾	当館
39	勤労動員婦人の雑誌	昭和18～19年 (1943～44)	3	－	『婦人倶楽部』第24巻第2号、『写真週 報』第297号、「同」313号	神保成伍氏
40	国民勤労報国隊協力令書	昭和戦中	2	－	大日本婦人会高岡支部長より、高岡市 向野町の帝国特殊製鋼株式会社高岡工 場での勤労命令書	神保成伍氏
41	写真「高岡へ進駐軍」	昭和20年 (1945)	1	－	進駐軍を駅で迎える木津太郎平高岡市 長	高岡市
42	写真「進駐軍の慰労会」	昭和20年 (1945)	1	－	市当局が進駐軍を料亭に招待し、慰労 会を開いて意思の疎通を図った	高岡市
43	引揚証明書・復員証明書	昭和22年 (1947)	2	－	終戦により中国遼寧省大連市より長崎 県の佐世保港へ妻子を連れて復員した 陸軍伍長に発行された	当館
44	高ノ宮市場登録者証明票	昭和前期	2	－	高の宮(高岡関野神社)市場が業者を登 録制にして商売を正式に認可した証明 票	当館
45	写真「初めて見る高射 砲」	昭和11年 (1936)	1	－	市民の戦意を高揚する行事が盛んに行 われ、公園広場に高射砲が展示された	高岡市
46	写真「千保川での架橋訓 練」	昭和11年 (1936)頃	1	－	敵機の襲来で、橋が爆破されたという 想定で、舟橋などを架ける訓練が行わ れた	高岡市
47	写真「提灯行列(南京陥 落)」	昭和12年 (1937)	1	－	日中戦争時、中華民国の首都南京が陥 落したことを祝って、市民が提灯行列 で歓喜した	高岡市
48	写真「国鉄高岡駅前広 場」	昭和16年 (1941)頃	1	－	「皇軍万歳」の塔が時局を偲ばせる	高岡市
49	写真「片原町旧高岡市役 所前の垂れ幕 祈武運長 久」	昭和10～20年 (1935～45)	1	－	前線で戦う将兵のため「祈武運長久」 の文字がいたるところにみられた	高岡市

3. 子供たちと戦争

No.	資料名称	年代	点数	寸法 (縦×横,cm)	備考	所蔵
1	児童画「読書」	昭和11年 (1936)	1	32.7×47.4	高岡市立二上尋常小学校5年生・川邊弘君の作品。5学年の一等賞	当館
2	習字「国体明徴は図書館より」	昭和11年 (1936)	1	32.5×47.5	高岡市立平米町尋常小学校6年生・板坂勲君の作品。6学年の一等賞	当館
3	児童習字「皇威輝万邦」・ 「君恩万倍深」	—	2	—	共に「十歳 服部富士雄謹書」とある。共に皇室への崇敬の念を表す文言である	当館
4	戦時下の教科書	—	9	—	昭和15年(1940)以降の国民学校の教科書は、軍事主義と忠君愛国思想を徹底させ、「少国民」を育てる意図が感じられる	当館
5	高岡市定塚町青年学校への 援助願書	昭和13年 (1938) 7月1日	1	17.8×25.5	高岡市定塚町青年学校後援会長・正村五平と学校長・金丸栄太郎から、定塚町青年学校後援会員宛て	当館
6	戦時下の紙製遊具	昭和戦中	4	—	家族合、軍事カルタ、軍隊絵合わせパズル、愛国百人一首	神保成伍氏、 当館
7	出世双六	昭和10年 (1935) 1月1日発行	1	54.0×78.7	日本の歴史上で出世を遂げた人物がマスに描かれている。大日本雄弁会講談社発行	神保成伍氏
8	東郷元帥出世双六	昭和11年 (1936) 1月1日発行	1	53.5×77.4	東郷平八郎の出世物語が絵と文章でマスに記されている。大日本雄弁会講談社発行	神保成伍氏
9	鉄兜	—	1	径23.0× 高9.8	アルミ製。子供のおもちゃ	神保成伍氏
10	米つき一升瓶	—	1	底径11.7× 高36.1	配給の玄米を一升瓶に入れ、棒でついて精米した	当館
11	『大毎コドモ』	昭和10～13年 (1935～38)	4	—	「海軍々縮会議と正しい日本の言ひ分」や「武士の心情」など。大毎こども会出版	当館
12	日の丸手旗	—	1	25.3×35.2	出征兵士の見送りや祝勝集会などの各種行事に用いた	和田美寿子氏
13	写真「小旗を持って出征 兵士を送る幼児たち」	昭和10～20年 (1935～45)	1	—	高岡市伏木にて撮影	伏木保育園
14	絵葉書「高岡市博労町小 学校奉安式」	大正10年 (1921)以降	1	9.1×14.1	奉安式とは、奉安殿に下賜された天皇・皇后両陛下の写真(御真影)や教育勅語などを納める儀式	当館
15	菊花紋章	昭和前期	1	径35.8× 厚2.5	川原小学校講堂掲示用。同校では奉安殿が屋外ではなく、講堂の舞台の奥に設置されていた	当館
16	富山県児童十則(礼法・ 保健・生活)	昭和13年 (1938)2月	1	24.3×33.3	般若野尋常小学校(現高岡市立中田小学校)発行の児童の心得。礼法・保健・生活の各10則	当館
17	写真「学童疎開」	昭和19～20年 (1944～45) 頃	1	—	東京から富山県への学童疎開は、都市部の空襲が激しくなった昭和19年に始まった	高岡市
18	木銃	—	1	長165.0× 幅9.7×厚3.0	主に銃剣術用として、旧制中学校や専門学校の軍事教練で使用された	当館
19	写真「女学生の軍事教 練」	—	1	—	戦時訓練のため、女学校でも軍事教練が行われた	高岡市
20	写真「畑を耕す子供たち」	—	1	—	食糧自給のため、子供たちも学校の校庭での農作業に追われていた	高岡市

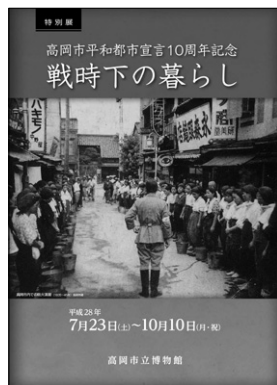
21	満州引揚時のリュック	昭和前期	1	53.0×46.0	終戦の混乱期、満州・新京（現長春）から日本へ向けての逃避行で7歳の少女が使用したもの	当館
22	戦時中の子供向けレコード	—	7	—	行進曲など、軍事色の強い曲が多くある	神保成伍氏、 当館
23	写真「戦後の混乱期の小学生の服装」	昭和23年 (1948)	1	—	高岡市博労小学校児童記念写真	高岡市立 博労小学校

4. 作文・手記にみる戦時下の暮らし

作者・タイトル	出典
H.M「聞きかじりの戦争体験記」・津幡五月「戦中の小学校の思い出」・佐賀すみ子「笑えぬナンセンス」・村本静子「『ぜいたくは敵だ』」・村本愛子「母の真心」・福島秀子「戦時中の思い出」・山下ふさ子「私の戦争の思い出」・野村花子「私の戦中戦後」・杉浦国子「戦争教育」・柳沢京子「我が家の強制疎開」・中西孝栄「小さい命」・黒田綾子「戦争中の衣料店」・中山登志「戦争体験記」・辻千和子「戦争は二度と繰り返してはいけない」・T.T「何もかも配給制」・吉田由紀子「姑から聞いて」・嵯峨姫子「父の戦死」・E.M「青春の思い出」	『手記特集 育てよう 平和を!』高岡市定塚校区婦人会発行,昭和61年(1986)
天秤与八郎「召集兵を見送る」・池田弘基「僕の思い出」	『博労児童作品史』高岡市立博労小学校発行,昭和56年(1981)
高岡川原小学校5年「おもかえ」	『小学作文 第1巻第4号』富山県作文研究会発行,昭和24年(1949)
土岐慶哉（講演要旨）	語り継ぐ戦争体験「出征・シベリア抑留そして復員」当館年報第12号,平成10年(1998)
室崎尚憲（抜粋）	室崎尚憲著『東部ニューギニア 高射砲隊 追憶記』戦史刊行会発行,昭和59年(1984)
米澤暢晃（抜粋）	米澤暢晃著『青果に魅せられて 米澤暢晃の軌跡』サンボウ発行,平成9年(1997)



チラシ・ポスター



パンフレット



展示風景

〔4〕企画展「緊急延長！新たに寄贈された戦時下資料」

〔会期〕平成28年10月22日(土)～平成29年1月15日(日) 〔69日間〕

〔会場〕新館第1・3企画展示室

〔趣旨・内容〕

当館では、特別展「高岡市平和都市宣言10周年記念 戦時下の暮らし」を開催した。この展覧会は主に平成9年の「戦時下の暮らし」展以来、多くの方々による寄贈資料を展示したが、その数は多く、展示できなかったものもある。また会期中には多くの方々から戦時下関連資料を新たに寄贈していただいた。本展では、それら戦時下資料を緊急延長展示という形で初公開した。

〔展示資料〕計58件86点

No.	資 料 名 称	年 代	点数	寸法 (縦×横,cm)	備 考	所 蔵
1	写真「高岡防空監視隊本部第三班員」	昭和20年 (1945)4月	1	－	防空監視隊は、戦時下において敵機来襲の早期発見(防空)のために設けられた組織	柳澤京子氏
2	富山県高岡監視隊本部 防空監視隊員指定書	昭和19年 (1944) 2月8日	1	26.7×19.1	業務内容は、高岡監視隊本部の下にある県西部10の防空監視哨よりの敵機発見通報を受け、東京・大阪の本部へ通報するものであった	柳澤京子氏
3	戦時債券類	昭和15～19年 (1940～44)	7	－	戦争が拡大すると軍事費は膨大化し、それを賄うため政府は増税や貯蓄奨励のほか、各種の戦時国債を多発した	泉治夫氏・ 江畑幸英氏
4	青年学校帽子	昭和戦中	1	幅17.0× 奥行26.0× 高さ8.5	青年学校では、戦時中は男子に軍事訓練を施し、女子は家事・裁縫を学んだ	徳田三郎氏
5	奉公袋	昭和戦中	1	33.4×22.8	兵士が入営の際に必要なものを入れておくための袋	徳田三郎氏
6	「日満露支交通国境大地図」	昭和10年 (1935) 1月1日	1	78.3×109.5	当時の日本の領土ならびに租借地が赤色で示されており、大陸への進出の様子がわかる	望月保氏
7	陸軍士官用軍帽	昭和戦中	1	幅22.0× 奥行25.0× 高さ9.4	明治45年(1912)制式の陸軍下士官兵用の軍帽と思われる	徳田三郎氏
8	陶製水筒	昭和戦中	1	26.0×15.8	戦時下には金属が供出され不足していたため、生活必需品を陶器などで作った代用品の一つ	徳田三郎氏
9	海軍用飯缶・薬缶	昭和戦中	2	－	飯缶は、軍隊が米麦飯、汁、副菜などを入れていたアルミニウム製の配食缶。薬缶の側面には海軍の錨と桜のマークの刻印が入っている	江畑幸英氏
10	海軍1種予科練軍衣	昭和18年 (1943)	1	着丈48.0× 桁丈67.8	予科練とは、海軍飛行予科練習生の略称。今の中学生から高校生ぐらいの少年が多く入隊試験を受験した	松本徳次氏
11	兵隊盃	昭和期	6	－	除隊した兵士がお祝いに配った除隊記念盃と、日中戦争(支那事变)従軍記念に陸軍兵士へ贈られた盃	－
12	『高岡市公報』	昭和17年 (1942)4月	2	－	第二次世界大戦中に高岡市役所より発行された第241号と、衆議院議員総選挙に関する号外。ともに戦争を奨励する標語などが掲載されている	－
13	『衆議院議員選挙事務提要』	昭和17年 (1942) 4月30日執行	1	24.6×17.5	衆議院議員選挙に向けて高岡市役所が発行した冊子。準備事項や人員配置、投票所の設備略図などが掲載されている	－
14	『翼賛の精神とその実践』	昭和17年 (1942)以降	1	21.4×15.0	高岡市翼賛壮年団の目標や実践項目などが記されている冊子。翼賛壮年団は青壮年による大政翼賛会の外郭団体で、大政翼賛運動の実践部隊として結成された	－
15	高岡市定塚国民学校新校舎・奉安殿落成記念絵はがき	昭和16～17年 (1941～42)	4	－	奉安殿は、学校で天皇・皇后の写真である御真影や教育勅語などを保管するための建物。定塚国民学校では昭和17年に運動場の南隅に設けられた	－
16	防火演習用バケツ	昭和戦中	1	高さ24.3× 径30.5. 底径21.0	太平洋戦争中、空襲に備え、地域での防火演習で使用されていた。高岡市守山町伝来資料	若森征雄氏
17	日の丸寄せ書き	昭和19年 (1944)頃	1	72.0×88.0	右に大きく「祈武運長久」とあり、日の丸の周りには23名の署名がある	若森征雄氏

18	鉄兜	昭和戦中	1	高さ15.6× 径28.8	形は大日本帝国陸軍で使用されていた「九〇式」とよく似ているが、表面に星章がついていないため、それを民間用に転用したものと思われる。高岡市守山町伝来資料	若森征雄氏
19	守山町戦時下各種腕章	昭和戦中	23	－	太平洋戦争中に使用されていたもので、町内会や家庭防護組合に関する様々な役職名が印字されている。8種	若森征雄氏
20	看板「待避所」（防火演習用）	昭和戦中	3	－	待避所とは防空待避施設（待避壕）のこと。地域の共同の防空待避施設の場所を示すためのものだったと推測される。高岡市守山町伝来資料	若森征雄氏
21	看板「空襲警報／警戒警報」	昭和戦中	1	149.0×45.3 ×厚さ1.1	それぞれの警報発令時や、地域での防火演習で使用されていた。高岡市守山町伝来資料	若森征雄氏
22	看板「守山町家庭防護組合事務所」	昭和戦中	1	122.8×20.3 ×厚さ2.1	太平洋戦争中に使用されていたもの。家庭防護組合は、常会（町内会・部落会）単位で結成された防護団の末端組織	若森征雄氏
23	木札「防空当番」	昭和戦中	1	30.2×10.2× 厚1.0	家庭防護組合内での役割を示す表札のようなもの。高岡市守山町伝来資料	若森征雄氏
24	木札「守山町第二防護副群長」	昭和戦中	1	31.6×9.2× 厚さ1.4	家庭防護組合内での役割を示す表札のようなもので、家庭の玄関先に掲げられていたという	若森征雄氏
25	防火演習用疑似焼夷弾	昭和戦中	2	－	おが屑を布でくるんで丸みをもたせ、布の裾を紐で縛ったもの。高岡市守山町伝来資料	若森征雄氏
26	警戒・空襲警報用吹き流し	昭和戦中	2	－	警戒・空襲警報の発令時に主に山間部への伝達手段として用いられていたほか、地域での防火演習の際に使用されていた。高岡市守山町伝来資料	若森征雄氏
27	防空頭巾	昭和戦中	1	幅53.0× 奥行49.5× 高さ56.0	空襲の戦火から身を守るための頭巾。町会、隣組名、氏名、血液型などを書いた名札が縫い付けられているものもある	飯野馨子氏
28	写真「現高岡市本町の防空訓練」	戦時中	5	－	現本町（戦時中は涼仲町、のち仲町）で撮影された。屋根の上までバケツリレーをしている	江畑聿英氏
29	写真「小杉町高岡市勤労報国隊解散式記念」	昭和17年 (1942)4月17 日	1	－	戦時下での労働力の確保が困難なため、一般国民である14歳以上40歳未満の男子、14歳以上25歳未満の未婚の女子による勤労報国隊を編成し、総動員業務に協力させた	江畑聿英氏
30	日露戦没叙勲 記章・授与状	明治期	6	－	日露戦争で戦死した陸軍歩兵上等兵に贈られた勲八等白色桐葉章	島寿男氏
31	弔辞	明治38年 (1905)10月9 日	3	－	日露戦争で戦死した陸軍歩兵上等兵と陸軍歩兵一等卒への弔辞	島寿男氏
32	日清戦争記念記章・授与状	明治28年 (1895)	2	－	日清戦争の凱旋記念として、陸軍輜重輸卒に贈られている	島寿男氏
33	支那事変記章・授与状	昭和戦中	2	－	授与状は、支那事変の功により勲八等瑞宝章を贈ったものである	島寿男氏
34	愛国婦人会通常会員章	戦時中	1	3.4×2.7	上部の細長い部分の裏には「半襟／一掛」とあり、これは当初、半襟を一掛節約して会費を出し合い、それを弔慰金として寄贈することを主事業としたことからきている	島寿男氏
35	大日本国防婦人会「誉之家」木札	昭和戦中	1	24.0×9.4× 厚さ1.6	大日本国防婦人会福岡町分会が出征兵士のいる家庭に贈った木札で、玄関に取り付けられた	島倉栄吉氏

36	「陸軍特別大演習宿舍便覧」附 高岡案内・高岡市街図	大正13年 (1924) 11月1日	1	27.1×39.2	高岡市役所発行。高岡市内の陸軍司令部と本部の場所が掲載されている	高橋君江氏
37	報国経済週間標語「正しい値段で明るい奉公」	昭和戦中	1	26.5×9.1	詳細は不明だが、物資不足の中、不当な価格での販売を禁じる国策の一環と思われる	高岡市立中央図書館
38	十銭普通切手「敵国降伏」	昭和20年 (1945) 4月1日	10	—	印刷局発行。福岡宮崎宮門にある勅額が描かれており、これは郵政当局による戦意発揚・戦勝祈願のための図柄公募の入選作品である	藤本一夫氏



チラシ・ポスター



展示風景

(5) 館蔵品展「新資料展」

〔会期〕平成29年2月4日(土)～3月31日(金) 〔48日間〕

〔会場〕新館第1・3企画展示室

〔趣旨・内容〕

当館では長く後世に高岡の歴史文化を伝えるために、日頃、郷土の歴史・民俗・伝統産業などに関わるさまざまな資料を収集している。寄贈・購入などにより収集しているが、多くは市民の皆さまからのご寄贈によるものである。資料点数は平成28年末現在で2,836件25,634点を数え、収集したそれらの資料は適切に保存・管理、調査・整理している。

本展では近年新たに収蔵された博物館資料を展示・紹介した。平成29年5月7日まで、年度をまたいで開催するもの。

〔展示資料〕計62件123点

1. 歴史資料

No.	資料名称	年代	点数	寸法 (縦×横,cm)	備考	所蔵
1	『賀越能之太守利家公御夜話』上・中・下(写本)	原本慶長4年 (1599) 閏3月3日 写:元禄6年 (1693) 2月上旬	3	—	加賀前田家初代当主・前田利家の言葉を村井長明(勘十郎)が記したものの写本。内容は長明による『垂相公御夜話』とほぼ同一であるが、記述の順序が大きく変わっている	—
2	年未詳九月十日付前田利長書状	年未詳 (1601～14) 9月10日	1	36.2×56.9	新発見史料。加賀前田家2代当主・前田利長から駒井中務少輔宛ての知行割に関する書状。駒井は慶長6年(1601)に利長に仕え、放生津を拠点に越中の行政を担当していた守勝と思われる	—

3	神保氏張年貢請取状	天正11年 (1583) 7月26日	1	25.7×13.1	海老坂村(高岡市)肝煎の小四郎(上坂氏)が当時の守山城主・神保氏張に肝煎分173俵を除いた年貢米を蔵に納入した際に差し出したもの。請け取りの証明として氏張が花押を据えている。上坂家文書	—
4	年未詳八月二十三日付横山英盛書状	年未詳 (江戸中期前半) 8月23日	1	32.9×50.4	加賀八家・横山家5代の左衛門英盛(1658～1704)が東海老坂村五兵衛に宛てた鱸2尾の礼状。元和期(1615～24)頃から東海老坂村が横山家の給人知となっていたため、その密接な関係を示すものといえる。上坂家文書	—
5	御用留(前後欠)	元文期 (1736～41)	1	16.1×21.3	作者は上坂氏4代・五兵衛。藩からの各種の達しの写しを中心としているが、中には上坂家の由緒など私的な記録もみられる。上坂家文書	—
6	「定山請証文之事」	明和5年 (1768) 6月21日	1	24.8×56.8	二上村肝煎から上坂氏4代・五兵衛宛。同村民は同村領内「岡湯用水湯坪」と「土取場」等の二上山中の土地の借地料として、「法花坊田」138.7歩(坪)を五兵衛へ渡すという無期限の土地貸借契約。上坂家文書	—
7	「二上組二塚村変地所勢子年限取極場所見取絵図」	嘉永2年 (1849)6月	1	63.0×132.0	現在の高岡市二塚の絵図。水害によって不毛となった土地の復旧を奨励するための補助米を支給する取り決めがなされた場所が記されている。5年・10年・15年の開詰(復旧予定)が色分けされている。青木家文書	—
8	「富山県射水郡二塚村大字二塚村耕地整理施行地区及之ニ隣接スル土地現形図」	明治後期	1	225.0×100.0	現在の高岡市二塚の縮尺1/1,800の絵図。従来の耕地条件の不備を改め、生産力を高めるために国の補助のもと進められた耕地整理が施行された土地を中心に記されている。青木家文書	—
9	一番新町絵図	正徳4年 (1714)4月	1	34.2×425.8	数点現存する一番新町絵図の中で最古のもの。「御改め」(藩の調査)のために作成された	一番新町 自治会
10	「富山県高岡市 一番新町実測図」(写)	昭和初期	1	54.5×131.0	図の右側に「昭和通」が記されており、昭和通りが開通した昭和9年(1934)以降の図を写したことがわかる。2枚組のトレーシングペーパー	一番新町 自治会
11	「越中国射水郡古府村地引絵図」	明治16年 (1883)8月	1	140.0×236.0	明治8年(1875)10月に現在の高岡市伏木古府の地引絵図が作成され、それを元にして作り直された絵図。地引絵図とは地番、区画、地目などを記した絵図のことで、地租改正などに伴い作成された。高野家文書	高野光子氏
12	「新川県下越中国第二十一大区小二区砺波郡八口村秤地図」	明治4～9年 (1871～76)	1	80.0×190.0	現在の高岡市八口の絵図で、控えとして作成したものと思われる。黄色で示されている極高新開とは、部分的な検地により草高を決定した新開のこと。国谷家文書	石川泰史氏
13	加賀藩試鑄銭	江戸末期	2	5.7×3.6 8.6×5.2	幕末に加賀藩が鑄造した三百文と七百文の試(私)鑄銭(五百文もある)	—
14	銭札「高岡 鍋屋仁右衛門 三百文」	江戸後期	1	18.6×4.8	坂下町の綿商・鍋谷仁右衛門が発行した銭札。町人発行の預手形または私造銭札と考えられる	—
15	高岡市火葬場へ仏像・仏具寄付感謝状	昭和3年 (1928) 4月11日	1	27.0×39.0	中村せつ氏が火葬場に阿弥陀如来像、三具足、鑿(台付)を寄贈したことに対し、当時の高岡市長・南慎一郎から贈られたもの	(匿名希望)
16	『はぎ女句集』	昭和38年 (1963) 6月20日	1	14.5×22.0 ×厚1.0	高岡の俳人・沢田はぎ女(初枝・1890～1982)の句集。池上不二子編	—

17	高岡関係絵葉書	明治40年 ～昭和19年 (1907～44)	22	－	高岡市内の各所で撮影された写真を使用した絵葉書	－
18	高岡風景古写真	明治期頃	12	－	高岡・氷見市内の各所で撮影されたモノクロ写真	室崎信一氏
19	写真「七本杉最後の姿」	昭和2年 (1927)	1	－	末広通りにあった神木。同年11月18日伐採の理由は木の老朽化のため、及び明治31年(1898)に高岡駅が新設され末広通りが交通の要路になると、交通妨害を引き起こしたためであった	(高岡市蔵)
20	御神木七本杉 置物台	昭和2年 (1927)以降	1	幅32.4× 奥行19.5× 高3.2	神木・七本杉の用材で作られた置物台。七本杉の再利用は多く、箸などの小物のほか、大黒天像(妙国寺蔵)や大仏回廊内の板絵仏画13点などがある	手崎正之氏
21	「最新版 高岡市内地図」	昭和23年 (1948)8月10日	1	37.9×53.3	縮尺1/50,000の高岡市広域地図と、市中心部・伏木地区・新湊地区(現射水市)の地図。裏面には高岡市の沿革や商店などの広告が、市内の名所旧跡の写真とともに掲載されている	(匿名希望)

2. 民俗資料

No.	資料名称	年代	点数	寸法 (縦×横,cm)	備考	所蔵
22	銭湯「朝日湯」資料	昭和期	3	－	白金町で銭湯を営んでいた朝日湯(1927～2014年)の資料。中将湯温泉ホーロー看板、入湯者心得(昭和26年)、入浴料(高岡浴場組合)	早川義治氏 早川義一氏
23	谷道文開堂看板資料	大正 ～昭和期	6	－	小馬出町で文房具店を営んでいた谷道文開堂(明治28年創業)の看板。ヤマト糊(青貝塗)、開明墨汁、宣伝用セーラー万年筆など	谷道俊雄氏
24	火鉢	－	2	高29.2× 径44.6 高21.4× 径29.4	共に陶製。灰を入れて炭火をおこし、手足を温めたり、湯を沸かししたりする暖房具。石油ストーブが登場して以降、衰退していった	菊田明美氏
25	竹に雀文蒔絵見台	昭和40年代 以前	1	幅49.2× 奥行35.0× 高51.4	三味線伴奏による語り物音楽である浄瑠璃用の譜面(床本)台。北野宗治(団昇)氏使用	北野 巖氏
26	宣伝用旗「桜馬場通り振興会」	昭和20年代 前半	1	33.0×44.6	桜馬場通りの店先に掲げられていた宣伝用旗	北野 巖氏
27	写真「桜馬場公園」	明治42年 (1909)	1	－	明治に入り、民間に払い下げられそうになっていた桜馬場を鳥山敬二郎が買い取り、高岡市に寄付した。その後、明治35年(1902)公園に指定された。北陸有数の桜の名所であった	(高岡市蔵)
28	重掛け	昭和期	1	73.4×70.2	婚礼の後、近所や親戚への挨拶回りの際に使用されるもの。重台、重蒲団、そして赤飯・餅・饅頭などが入った重箱を重ねて置き、その上に豪華な刺繍や家紋の入った重掛けをかけた	手崎純子氏
29	嫁暖簾	昭和50年 (1975)頃	1	171.5×185.0	婚礼の際、花嫁が持参して仏間の入り口に掛けた暖簾。花嫁はそれをくぐって仏壇参りをしてから結婚式に臨んだ。紋は実家のものを付ける	松木 勇氏
30	氷嚢釣	昭和前期	1	幅39.0× 奥行20.5× 高51.6	氷片や水を入れて患部を冷やすための氷嚢を吊るす組立式の台。「ホープ氷嚢釣」	本田義郎氏

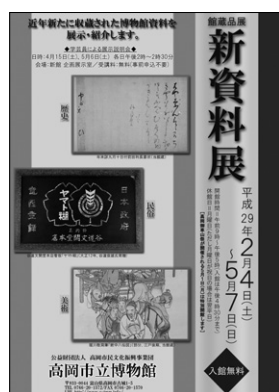
31	洗濯板	—	1	55.0×23.5 ×厚1.6	たらいの中で洗濯物をこすりつけて汚れを落とすための板。両面に溝あり。中国がルーツだが、明治期に欧米から伝わった。昭和30年代に洗濯機が普及するまで使用された	谷道俊雄氏
32	卓上型ラジオ	昭和30年 (1955)	1	幅25.3× 奥行13.0× 高17.0	ナショナル製の真空管ラジオ(DL-325)。価格は8,500円であった(当時の小学校教員の初任給は7,800円)	谷道俊雄氏
33	「新板金沢道中双六」	安政4年 (1857)頃	1	44.9×65.0	江戸日本橋を振り出しにして、金沢を上がりとする道中双六。画は歌川国芳の門人・歌川芳員。江戸・和泉屋市兵衛版	—
34	「新版 北陸道中巡覧双六」	明治後期頃	1	44.5×67.4	金沢市を振り出しにして、東京府(日本橋)を上がりとする道中双六。金沢・吉岡版	—
35	砺波郡相撲番付	明治19年 (1886)4月	1	47.8×34.5	中田神社で開催された地方(草)相撲の番付。旧砺波郡に現在「中田神社」と称する神社は無いが、高岡市中田で最も大きい移田八幡宮のことと思われる	—
36	羽織	明治後 ～昭和初期	1	丈104.1× 裾61.7× 袖丈63.9	長着の上に羽織る折衿の短衣。明治時代以降に紋付羽織・袴が男子礼装と定められ、一般に広がった。後に女性も羽織を着用したが、正装として打掛があるため、正装にはならなかった	手崎純子氏
37	丹前	昭和前期	1	丈96.2× 裾66.6× 袖丈50.5	着物や寝間着の上に着る防寒用の綿入れ。現在も旅館などで寒期の防寒着として使用される	手崎純子氏
38	長着	明治後 ～昭和初期	2	—	丈が足首あたりまで長い着物。羽織・半纏・野良着などの丈の短い着物に対して呼ばれる	手崎純子氏
39	子供用着物(四ツ身紋付袴)	昭和前期	1	丈112.7× 裾55.9× 袖丈72.9	七五三などで使用したものと思われる。四ツ身は主に4～12歳頃の子供用の着物のことをいい、並幅の反物から子供の身長4倍の長さの布を取り、それらを縫い合わせて作られる	手崎純子氏
40	日本館ニュース	昭和14年 (1939) 12月19日	1	19.5×27.1	下川原町にあった映画館・日本館が発行した上映案内	—
41	写真「日本館」	昭和初期	1	—	日本館の前身は有楽キネマという映画館だった	(高岡市蔵)
42	棹秤	大正～昭和 初期頃	1	長106.7× 径約3.8	金属製。錘を用いた棒状の計量用の道具。鉤に吊るした計量物と水平になるよう少しずつ錘をずらして、水平になった箇所が目盛りがその計量物の重さになる。錘(秤量120kg)付属	千龍正夫氏
43	手鉤	—	2	—	俵などの積み換えや運搬に使用された道具。木の柄の先に付いた鉤を俵などに引っかけて運んだ。一本鉤と三本鉤(熊手型)	千龍正夫氏
44	引札「越中伏木湊 海陸回漕店 栗田吉左衛門」	明治期	1	25.8×37.5	栗田家は蒸気船で伏木―高岡間の貨客運送業や、日本郵便会社などに参画した	—

3. 美術資料

No.	資料名称	年代	点数	寸法 (縦×横,cm)	備考	所蔵
45	梅文銀象嵌銅花瓶	昭和45年 (1970)	1	高16.1× 径22.4	川原本町の象嵌師・本保桂泉(勇蔵・1910～87)による寿型の花瓶。肩部には桂泉が得意とした銀線象嵌で帯が作られ、内部には卓越した象嵌技法により梅文と笹の葉のような文様がリズミカルに配されている	本保澄雄氏

46	金銀象嵌ループタイ留め具	昭和50年代後半頃	1	4.6×3.6	装飾を兼ねた留め具がついた紐ネクタイ。本保桂泉の巧みな象嵌技術がうかがえる	本保澄雄氏
47	本保桂泉作象嵌花瓶半製品	昭和61～61年(1986～87)頃	2	高23.6× 径9.6 高30.4× 径16.3	半製品とは、製作途中の作品のこと。象嵌の過程がよくわかる、希少な資料である	本保澄雄氏
48	彩漆双鶏草花文手付茶櫃・銘々皿	大正4年(1915)5月	7	[茶櫃]高26.5 ×径32.2 [皿]13.4× 13.2	横田町出身の漆芸家・伏間金峰(1891～1976)による手付茶櫃。蓋表に雌雄の鶏と3種の菊が彩漆と蒔絵で、側面にタンポポや堇などの草花が彩漆で描かれている	(匿名希望)
49	高岡彫刻塗鯛盆「定塚町校後援会記念」	—	1	幅39.6× 奥行30.3× 高1.8	彫刻塗は、明治30年(1897)に富山県工芸学校校長・納富介次郎(図案)と、教頭・村上九郎作が鯛盆を開発したことから始まったといわれる	—
50	絵変わり蒔絵梅形銘々皿	昭和戦後	6	高5.8× 径32.5 [小皿]高2.5 ×径15.7	定塚町出身の漆芸家・山崎立山(1895～1969)による銘々皿。梅形に象られた木地に、高岡漆器独特のうるみ色の漆の素地に花や幾何学模様などが蒔絵や彩漆で描かれている。大皿1枚、小皿5枚	(匿名希望)
51	高岡市民憲章 染付皿	昭和後期	5	高約4.6× 径約31.2	昭和37年(1962)に制定された旧高岡市民憲章と絵が書かれている。皿の制作は京焼の加藤栄山、書は高岡市西田の臨済宗国泰寺派本山62世管長を務めた稲葉心田(1906～86)	—
52	色絵鳳凰図平鉢 古九谷写	昭和22年(1947)以前	1	高4.0× 径33.2	昭和22年の天皇北陸行幸に際し、高岡工芸学校校長兼県工芸試験場長・浅野 廉(1889～1972)が献上のために制作したもの。加賀の窯元へヶ月間泊まり込んで制作したという	柳澤京子氏
53	景岸焼 大黒文中皿	明治3～28年(1870～95)頃	1	高2.2× 径18.4	福岡町で焼かれていた景岸焼による中皿。創始者・篠田茂三郎(1837～95)は、輸出磁器の製造を思い立ち色絵付の磁器窯を興した。明治11年(1878)にパリ万博で銅賞を受賞するなど活躍したが、篠田の死と共に廃窯となった	—
54	黒田焼 筏井竹の門絵付茶鉢	大正5年(1916)頃	1	高12.8× 口径17.7	高岡の俳人・俳画家の筏井竹の門(1871～1925)による絵付が施された茶鉢。胴から腰にかけて2匹の鹿と、見込に山と月が墨一色で描かれている。黒田焼は高岡市二塚の角 太一(陶風)が始めた	古谷昭史氏
55	竹梅図	大正10年(1921)4月	1	136.2×32.4	筏井竹の門による日本画。印章の「四石」は、竹の門の住居「松杉窟」の庭の四隅に石があったことによる別号	北 正作氏
56	飲中八仙図	江戸後期	1	102.2×35.8	高岡初の町絵師・堀川敬周(1789?～1858)筆。画題は、杜甫の七言古詩「飲中八仙歌」に詠まれた八人の文人で、全員が酒豪でもあった	—
57	高岡産業博覧会 特別ポスター原画	昭和26年(1951)	1	76.8×94.2 ×厚1.1	昭和26年4月5日から5月25日にかけて高岡古城公園にて開催された、高岡産業博覧会の特別ポスターの原画。森戸国次(1904～91)筆	唐木 高氏 大寺桂子氏
58	愛	昭和28年(1953)	1	幅9.5× 奥行9.0× 高27.8	高岡市伏木出身の彫刻家・寺畑助之丞(1892～1970)によるテラコッタ(素焼き)の母子像	(匿名希望)
59	羽衣	—	1	縦32.7× 横26.7× 厚2.0	あわら町出身の彫刻家・畑 正吉(1882～1966)によるブロンズのレリーフ。能「羽衣」のシテ(主人公)・天女が浮き彫りで表現されている	(匿名希望)
60	二行書	明治40年(1907)頃	1	134.8×31.7	第11代高岡市長・早苗西藏(源淵・1865～1942)による書	新保秀夫氏

61	一行書	江戸後期	1	131.5×31.0	加賀前田家13代当主・前田齊泰(1811～84)の書。「尊開柏葉酒」とあり、「樽を傾けて屠蘇の酒(正月の祝い酒)を酌む」という意味	北 正作氏
62	七絶	明治後～昭和初期	1	137.1×33.2	高岡の政治家・漢詩人・書家の大橋二水(1859～1940)の書。七言絶句(七絶)が三行に書かれている	北 正作氏



チラシ・ポスター



展示風景

2 教育・普及活動

(1) 郷土学習講座「高岡を知る」(全3回)

「高岡を知る」をテーマとして、郷土高岡の歴史・文化など幅広い分野について紹介し、理解を深めていただく連続講座を開催した。

〔第1講〕「佐渡家資料と高岡」

日 時：平成28年4月30日(土) 午後2時～3時30分

会 場：新館3階講堂

講 師：佐伯安一氏(高岡市文化財審議委員、
佐渡家資料調査事業総括責任者)

聴講者：77人

要 旨：佐渡家はもともと建部佐渡守家という武士の家系で、一向一揆の際に瑞泉寺で佐々成政と戦った。

その後流浪して、医者としての佐渡家が始まる。初代は高岡開町(1609年)に際し、前田利長に招かれた。3代目から養順の名を名乗るようになる。佐渡家は代々産婦人科医を生業としており、8代養順である千代九郎が産前産後の薬を発明し、莫大な財を成した。9代目養順である三良は、蘭方医術だけでなく、漢詩などでも優れた文化人であった。その弟が15代將軍徳川慶喜の侍医である坪井信良であり、幕末動乱期の世の動静を兄に知らせていた。佐渡家資料には、前田利長との関わりを表す古文書や蒼龍館文庫と呼ばれる図書、往診用の薬箱などが残っている。佐渡家資料が高岡の歴史、出来事を知る上で重要な資料である。

※佐伯先生は平成28年8月3日にご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



佐伯安一氏

〔第2講〕「戦争と子ども—学童集団疎開の記憶—」

日 時：平成28年8月20日（土） 午後2時～3時30分

会 場：新館3階講堂

講 師：須山盛彰氏（富山近代史研究会理事）

聴講者：44人

要 旨：太平洋戦争中、東京都の渋谷区、大森区（現大田区）、蒲田区（同）、荏原区（現品川区）より富山県へ約15,000人の学童が集団疎開してきた（富山と高岡市の市街地を除く）。疎開先で子供たちを悩ませたものが、別れた母親への想い、食糧難による空腹、ノミ・シラミなどの衛生問題、上級生からのイジメなどであった。また、疎開は戦時中の国策のため失敗が許されず、病気や集団食中毒、死亡事故が起きてても何も伝えられず、多くの事件・事故が伏せられた。柏原兵三『長い道』、藤子不二雄^④『少年時代』、柴田道子『谷間の底から』などの小説や漫画、子供の作文などからその一端がうかがえる。また終戦を迎え帰京した後には、疎開地との交流を始めた学校も出てきた。学童疎開の犠牲者は年少者で、不幸にして孤児になったり、精神的ショックを受けたりした子どもが多くいたという事実を語り継いでいく必要がある。



須山盛彰氏

〔第3講〕「江戸期の高岡の文人達—詩書画集『春藻錦機』を中心として—」

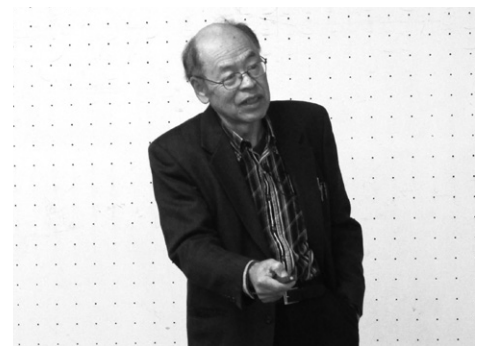
日 時：平成28年11月19日（土） 午後2時～3時30分

会 場：新館3階講堂

講 師：大西紀夫氏（富山短期大学名誉教授）

聴講者：12人

要 旨：『春藻錦機』は江戸後期の高岡の文人達の詩書画集である（1821刊）。編集は半樵亭主こと板屋小右衛門（漆芸家）である。作中に登場する作者は、僧（東林、玄妙、法隆、石雲、北陵雄、詩天、法周、樸堂など）・医師（高峰玄台、長崎蓬洲・浩斎、山本一覚、真葛、松田三知、上原龍圃など）・商人（寺崎^{れいしゅう}蛸洲、吉野屋嘉兵衛、槇屋路園、大坂屋武左衛門、上野屋嘉右衛門、和田彦玲など）・^{とむら}十村（大庄屋／高島誠処）などの文人たちである。特に冒頭に漢詩を寄せた寺崎蛸洲（三木屋半左衛門）は、好んで奇な言葉を使い、ユニークな詩を作った詩人で、高岡で漢文を学ぶ者はほとんどが蛸洲の教えを受けた。また、江戸時代の高岡では、松映房社、鳳鳴社、娛分吟社などの漢詩の集まりがあり、町人が漢詩を指導してくれる先生（大窪詩仏など）を中央から招いて教わっていた。このような背景があり、『春藻錦機』が高岡で出版された。ここに高岡町人文化の凄さがうかがえ、『春藻錦機』が高岡町人自身の手で作られている点も高く評価できる。また、『春藻錦機』には、漢詩だけでなく、和歌・狂歌・俳諧・画も掲載されており、そのような作品は全国的に見ても少なく、貴重なものであるといえる。



大西紀夫氏

(2) 展示説明会

①常設展・展示説明会

日 時：平成28年5月21日(土) 午後2時～2時30分(以下同)

担 当：仁ヶ竹主査学芸員(以下同)

参加者：27人

②特別展・展示説明会(全3回)

〔第1回〕

日 時：平成28年7月23日(土)

参加者：31人

〔第2回〕

日 時：平成28年8月13日(土)

参加者：30人

〔第3回〕

日 時：平成28年9月24日(土)

参加者：21人

③企画展「幕末維新風雲通信」展示説明会

日 時：平成28年4月16日(土)

参加者：22人

④館蔵品展・展示説明会

日 時：平成29年2月4日(土)

参加者：44人

(3) 古文書講座「初めての古文書教室」(全6回)

当館では、高岡に関する古文書を多数収集・保管している。高岡の歴史や、古文書に関する市民への理解を深めるため実施した。年6回の連続講座。受講者累計207人。

〔第1講〕

日 時：平成28年10月13日(木) 午後2時～3時30分(以下同)

会 場：新館3階講堂(以下同)

講 師：仁ヶ竹主査学芸員(以下同)

受講者：36人

〔第2講〕

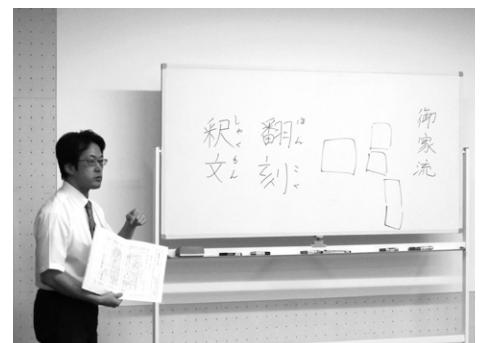
日 時：平成28年10月27日(木)

受講者：35人

〔第3講〕

日 時：平成28年11月10日(木)

受講者：36人



古文書講座

〔第4講〕

日 時：平成28年11月24日（木）

受講者：35人

〔第5講〕

日 時：平成28年12月8日（木）

受講者：35人

〔第6講〕

日 時：平成28年12月22日（木）

受講者：30人

（4）ミニ講座「高岡のみじかい話」（全12回）

平成23年度6月より実施しているミニ講座。高岡のいろいろなヒト・モノ・コトについて講義する。原則として毎月1回（他の行事のない木・土曜日に開催）。本館第1常設展示室、新館第1展示室、第3展示室、3階講堂を会場にして、午後2時より40分間。

月 日	内 容	担 当	参加人数
4月16日(土)	〔展示解説〕企画展「幕末維新風雲通信」	仁ヶ竹主査学芸員	22人
5月21日(土)	〔展示解説〕常設展「高岡ものがたり」	仁ヶ竹主査学芸員	27人
6月16日(木)	〔講座〕「気骨の民権政治家 島田孝之」	仁ヶ竹主査学芸員	31人
7月23日(土)	〔展示解説〕特別展「戦時下の暮らし①」	仁ヶ竹主査学芸員	31人
8月13日(土)	〔展示解説〕特別展「戦時下の暮らし②」	仁ヶ竹主査学芸員	30人
9月24日(土)	〔展示解説〕特別展「戦時下の暮らし③」	仁ヶ竹主査学芸員	21人
10月20日(木)	〔講座〕「神保氏張の生涯①」	晒谷和子前館長	49人
11月17日(木)	〔講座〕「神保氏張の生涯②」	晒谷和子前館長	57人
12月15日(木)	〔講座〕「神保氏張の末裔」	晒谷和子前館長	45人
1月12日(木)	「農民魂をもつ大学者 五十嵐篤好」	仁ヶ竹主査学芸員	33人
2月 4日(土)	〔展示解説〕館蔵品展「新資料展」	仁ヶ竹主査学芸員	44人
3月16日(木)	〔講座〕「加賀藩農政の基礎史料『村御印』」	仁ヶ竹主査学芸員	53人

（5）ワークショップ等

①屋上開放「古城公園展望台」

（桜の満開時期に合わせて開催）

日 時：平成28年4月8日（金）～10日（日）



屋上開放

時 間：いずれも午前10時～午後3時30分

〔各種イベントの開催〕

- 8日 ①高岡観光ボランティアガイド「やまたちばな」屋上解説
②高岡市民会館ホールサポーターの会「パープル」「さくらカフェ」
③木田流津軽三味線演奏会（演奏：木田貫松輝氏ほか2名）
④蓄音機によるSPレコード鑑賞会（当館所蔵「サロン蓄音機」使用／3回）

9日 上記①、④（2回）を実施。

会 場：新館屋上

来場者数：1,063人（3日間16.5時間の累計）

②呈茶の会「松聲庵－博物館で抹茶を楽しみませんか－」

日 時：平成28年4月9日（土） 午前10時～午後3時

協 力：近藤宗美氏（裏千家淡交会教授）ほか10名

参加者：227人



呈茶の会（春）

③呈茶の会「松聲庵－博物館で抹茶を楽しみませんか－」

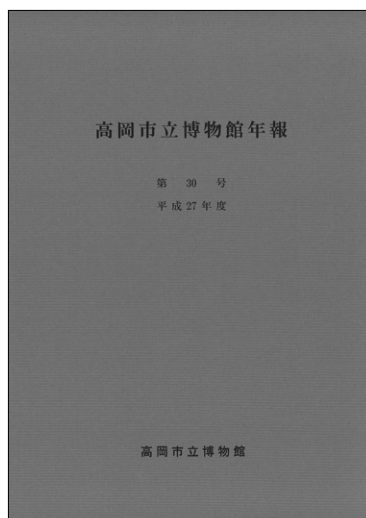
日 時：平成28年11月5日（土） 午前10時～午後3時

協 力：西 宗範氏（裏千家教授）・村谷宗秋氏（裏千家教授）ほか8名

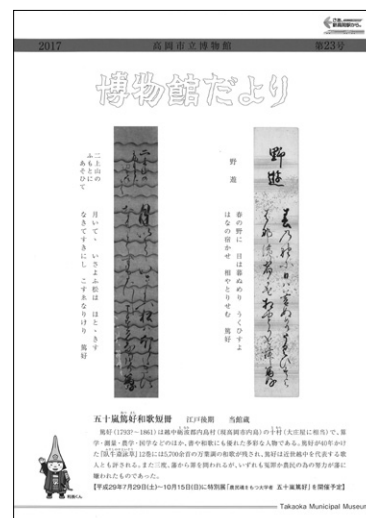
参加者：180人

（6）刊行物の発行

- ・特別展「高岡市平和都市宣言10周年記念 戦時下の暮らし」パンフレット（A4判、12頁、1,000部）
- ・機関誌『博物館だより』第23号（A4判、4頁、2,500部）
- ・年 報『高岡市立博物館年報』第30号（平成27年度）（A4判、40頁、200部）



『高岡市立博物館年報』第30号



「博物館だより」第23号

(7) 団体見学、展示解説対応

団体見学 計61件(うち展示解説14回)

〔団体一覧〕

月日	団体名	人数	展示解説
4月 9日	常設展展示解説(2回)	20人	2回
10日	クラブツーリズム新宿区	35人	
12日	足羽川桜並木北陸びゅうトラベルサービス	23人	
	杖・車いすで楽しむ旅北陸3日間	5人	
13日	射水市小島区コスモス会	10人	1回
16日	読売ツアー 城と桜めぐり	43人	
	南砺市立城端さくら保育園	26人	
17日	南砺市立城端さくら保育園	22人	
28日	高岡市立戸出西部小学校3年生	66人	
5月 9日	学遊塾 高岡歴史めぐり	11人	
14日	学遊塾 高岡歴史めぐり	7人	1回
21日	学遊塾 高岡歴史めぐり	10人	1回
25日	立山町五百万5区げんきクラブ	17人	
26日	高岡市立南条小学校3年生	30人	
6月 3日	高岡市立万葉小学校3年生	34人	1回
4日	麻芳の会	11人	
5日	朝日旅行	27人	
12日	クラブツーリズム百名城めぐり	44人	1回
15日	クラブツーリズム百名城めぐり	46人	
21日	高岡市立中田小学校3年生	52人	
24日	高岡市立二塚小学校3年生	46人	
	富山市立蜷川小学校5年生	120人	
	高岡市立下関小学校3年生	113人	
	高岡市立牧野小学校5年生	74人	1回
7月 8日	上滝公民館	41人	1回
	高岡市立太田小学校	15人	
8月 2日	こぶし園デイサービスセンター	21人	
3日	こぶし園デイサービスセンター	20人	
4日	こぶし園デイサービスセンター	21人	
5日	こぶし園デイサービスセンター	19人	

月日	団体名	人数	展示解説
6日	こぶし園デイサービスセンター	19人	
23日	金沢市かみやち児童クラブ	15人	
9月 8日	クラブツーリズム関西	27人	
	富山市興南中学校2年生	15人	
21日	J a m (障害者施設)	6人	
23日	富山市立堀川小学校5年生	57人	
10月 8日	金沢市かみやち児童クラブ	19人	
	万葉子供茶会	99人	
9日	万葉子供茶会	116人	
23日	ボーイスカウト高岡21団カブ隊	22人	
28日	クラブツーリズム首都圏七城めぐりツアー	36人	
11月 3日	クラブツーリズム首都圏	40人	
5日	常設展展示解説(2回)	17人	2回
6日	クラブツーリズムおひとり様の城めぐり	12人	
	クラブツーリズム首都圏七城めぐり	12人	
	グループホームいずみ	46人	
8日	クラブツーリズム首都圏七城めぐり	35人	
11日	高岡龍谷高等学校	7人	
12日	クラブツーリズム首都圏七城めぐり	68人	
15日	クラブツーリズム首都圏七城めぐり	28人	
	高岡市立定塚小学校6年生	87人	1回
23日	クラブツーリズム首都圏七城めぐり	12人	
24日	高岡市立博労小学校6年生	58人	1回
	クラブツーリズム首都圏七城めぐり	20人	
12月 6日	高岡商業高等学校流通経済科3年生	42人	1回
21日	富山大学芸術文化学部	14人	1回
1月21日	デイサービスかたかごの郷	12人	
	コトバス 百名城めぐり	25人	
3月 1日	高岡市平米小学校3年生	46人	1回
16日	(株)JTBプロモーション	5人	
	計61件	2,046人	15件

(8) 他団体への協力

①講師の派遣 計13件

〔講師派遣一覧〕

講師は全て仁ヶ竹主査学芸員

月日	依頼者 会合名	演題・内容
4月28日・6月9日 9月8日・11月10日 2月9日	北日本放送(株) (番組出演)	でるラジ
5月2日 ～6月12日 2月6日～19日 3月6日～19日 放送	高岡ケーブルネットワーク(株) (番組出演)	歴史都市 高岡ふしぎ帖
5月14日	富山県民生涯学習カレッジ高岡地区センター 平成28年度「ふるさと発見講座」(前期)	前田利常の施策と高岡 ～武士の町から町民の町へ～
5月28日	高岡市立博労公民館 生涯学習講座	ふるさと再発見 高岡城と博労 校下
6月17日	富山県立高岡工芸高等学校 図書館教養講座	国指定史跡・高岡城跡の魅力
6月19日	城下町科研・金沢研究集会 「中近世移行期 前田家領国における城下町と権力」-加賀・能登・越中- 講演会	城下町高岡の形成・変容
8月5日	まんしょう会 第27回総会・講演会	古文書にみる二上の歴史
9月14日	一番新町自治会 「前田利長と高岡城」講演会	「前田利長と高岡城」について
11月11日・18日 12月2日・16日 1月13日・27日	高岡市福岡歴史民俗資料館 古文書講座	古文書講座の講師
12月3日	高岡の旧町名復活を推進する会 講演会	高岡の祭礼と母衣武者行列
2月11日	東五位区域内公民館連携推進協議会 西部ブロック研修会	五十嵐篤好の生涯
2月16日～放送 2月24日～放送	(株)コムブリッジ (番組出演)	日本全国はじまるスタジオ
3月6日	高岡市立下関小学校 同窓会入会式	歴史都市・日本遺産『高岡』の 魅力

②委員の派遣 計5件

- ・高岡市教育委員会文化財課(高岡城跡保存活用計画策定専門部会1回、仁ヶ竹主査学芸員)
- ・富山県公文書館(平成28・29年度富山県公文書館古文書調査員1回、仁ヶ竹主査学芸員)

- ・城下町科研・金沢研究集会（「中近世移行期 前田家領国における城下町と権力」－加賀・能登・越中－1回、仁ヶ竹主査学芸員）
- ・伝統工芸高岡銅器振興協同組合（伝統的工芸品への生型鑄造追加申請事業 実行委員会2回、仁ヶ竹主査学芸員）
- ・（公財）勝興寺文化財保存・活用事業団（勝興寺重要文化財建造物等保存活用計画検討委員会2回、高田館長）

③寄稿 計1件

- ・「城下町高岡の形成・変容」（城下町科研・金沢研究集会「中近世移行期 前田家領国における城下町と権力」－加賀・能登・越中－、仁ヶ竹主査学芸員）

④博物館実習生の受け入れ

期 間：平成28年8月2日（火）～6日（土）〔5日間〕

実習生：1名（龍谷大学）

内 容：資料取扱、資料調査・整理、資料撮影、会場監視、古文書ボランティア対応など

⑤資料貸出 計9件

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
1	北前船関係資料	20	伏木観光推進センター	高岡市北前船資料館で展示（継続）
2	帳場格子、大福帳など	3	土蔵づくりのある山町筋まちづくり協議会	高岡市土蔵づくりのまち資料館で展示（継続）
3	小泉北都筆「波に日の出の図」など	5	（一社）高岡市自然休養村公社	高岡市自然休養村で展示（継続）
4	天正13年11月28日付徳川家康書状（北条氏規宛）	1	大阪城天守閣	特別展「真田幸村の生涯を彩った人々たち」（会期：H28.10/8～11/27）
5	高峰譲吉関係資料（当館蔵・高峰譲吉博士顕彰会蔵）	13	高峰譲吉博士顕彰会	高峰譲吉博士移動資料展（H27.10/11高岡市立太田小学校、H27.10/25高岡市立中田中学校）
6	「高岡大都市計画図」	1	高志の国文学館	企画展「浅野総一郎－九転十起の生涯」（会期：H28.10/29～12/19）
7	戸出野開御印状（パネル）	1	戸出御旅屋の門保全会	戸出地区文化祭（H28.11/5～6）
8	天神関係資料	8	土蔵づくりのある山町筋まちづくり協議会	「第16回山町筋の天神様祭」（会期：H29.1/21～22）
9	雛人形各種	54	土蔵づくりのある山町筋まちづくり協議会	「第17回山町筋のひなまつり」（会期：H29.3/11～12）

⑥写真提供 計42件

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
1	当館蔵写真絵葉書、高岡市蔵写真	17	高岡ケーブルネットワーク株式会社	御車山祭関係番組（H28.4月放送）
2	前田利長書状（にしぶかなやのいもじ）	1	高橋正樹事務所	『タカハシ・マガジン』 Vol.1

3	『平かな絵入り 往生要集』 (寛文十一年刊、個人蔵)	6	富山県 [立山博物館]	特別企画展「立山×地獄展」(会期： H28.9/17～11/13) 展示解説書 (H28.7月発 行) への掲載、及びパネル展示
4	竹の門自画像、河東碧梧桐来高 記念中越俳句大会写真 (個人 蔵)	2	高志の国文学館	常設展「ゆかりの文学者」コーナー (期間：H28.6/20から約1年間)
5	山町筋古写真	6	株式会社NHKプラネット中部 支社	NHK「日曜Tube」(H28.6/19放送)
6	古写真「千保川の舟運」	1	高岡ケーブルネットワーク株 式会社	「歴史都市 高岡ふしぎ帖」(H28.5/16～29 放送)
7	もんぺ	1	株式会社吉川弘文館	『日本生活史辞典』(H28.10月発行)
8	前田利長画像 (長光寺本複製)	1	高岡商工会議所	『高岡商工会議所創立120周年記念誌』 (H28.7月発行)
9	島田孝之肖像写真 (個人蔵)	1	北日本新聞サービスセンター	北日本新聞「まいたうん」7月号「たかお か歴史探訪」85 (H28.7/17付)
10	藤井能三肖像写真 (射水市個人 蔵)	1	富山県土木建設技術企画課	『とやまの土木2016』(H28.8月発行)
11	筏井竹の門肖像写真	1	南砺市立福光美術館	企画展「なんとの至宝展Part5 生誕120 年 文人 谷聴泉展」(会期：H28.9/17～ 10/30) 目録への掲載及びパネル展示
12	「高岡中古之図」	1	株式会社JTBプロモーション 北陸支店	富山県新旅行造成市町村タイアップ事業 「大人の遊び、33の富山旅。」のパンフ レット (H28.9/1発行) 及びmapツール
13	天正13年11月28日付徳川家康書 状 (北条氏規宛)	1	大阪城天守閣	特別展「真田幸村の生涯を彩った人たち」 (会期：H28.10/8～11/27) の図録
14	「高岡市太田及び周辺地域地形 図」	1	高岡市	行政不服審査法に基づく審査請求内容の審 査
15	「前田利長公銅像」(国指定史 跡「高岡城跡」本丸内)	1	株式会社誠文堂新光社	『ナマズの博覧誌』(H28.10/11発行)
16	「前田利長在城当時の高岡城と 城下町の鳥瞰推定図」	1	株式会社ユニット	テレビ東京BSジャパン「空から日本を見て みよう+」(H28.10/11放送)
17	高岡市特産品案内リーフレッ ト、高岡市商工奨励館リーフ レット	3	個人	農民美術とその周辺の木片人形の分類研究
18	「高岡中古之図」、高岡公園指 定請願書付図、「関野之古図」 (『高岡史料』付図)	3	Omatour Toyama	高岡市内の町歩きツアーの資料
19	楽譜「高岡市民の歌」	2	富山国際大学子ども育成学部	調査研究
20	「高岡中古之図」、「高岡町図」	2	極楽寺	調査研究
21	「越中国高岡関野神社祭礼繁昌 略図附録」	1	有限会社オンエアーとやま	高岡御車山、魚津たてもん祭、城端曳山祭 の紹介DVD (H28.12月)
22	藤井能三肖像写真	1	株式会社アルバ	『ポブラディア+人物辞典』(H29.1月発 行)
23	前田利長書状 (にしぶかなやの いもじ)	1	株式会社アキデザイン	「高岡すごろく」パンフレット (近世高岡 の文化遺産を愛する会「高岡商工会議所」 発行)
24	「高岡中古之図 (部分)」	3	高岡市教育委員会文化財課	高岡市公式Facebook (H28.10/27)
25	高岡市太田及び周辺地域地形図	1	富山地方方法務局高岡支局	不動産登記資料
26	林忠正肖像写真 (個人蔵)	1	(一社) 富山県芸術文化協会	『とやま文学』第35号 (H29.3/22発行予 定)

27	「関野之古図」(『高岡史料』付図)	1	株式会社TBSビジョン	BS-TBS「日本遺産」(H28.11/20放送)
28	「越中国高岡関野神社祭礼繁昌略図附録」	1	平米町自治会	町内の回覧文
29	前田利長画像(長光寺本複製)	1	北國新聞社	『北國文華』第70号(H28.12/1発行)
30	「高岡中古之図」	1	Omatour Toyama	ホームページ作成
31	「越中国高岡関野神社祭礼繁昌略図附録」	1	富山の曳山魅力推進事業実行委員会(高岡市文化財課)	富山の曳山魅力推進大会の曳山紹介映像
32	前田利家桶狭間凱旋図	1	株式会社NHKプラネット近畿総支社	NHK Eテレ「趣味どきっ! 姫旅」第4回(H28.12/27放送)
33	現高岡市本町の防空訓練5	1	朝日新聞富山総局	朝日新聞(H28.12/4付)
34	前田利家桶狭間凱旋図	1	株式会社チューリップテレビ	「ニッポンど真ん中! 照英の富山冬紀行」(H29.1/11放送)
35	前田利長書状(にしぶかなやのいもじ)、「機械化された鋳物工場」	2	株式会社テーク・ワン	テレビ大阪「夢織人」(H29.1/14放送)
36	「越中国高岡関野神社祭礼繁昌略図附録」	1	高岡ケーブルネットワーク株式会社	「世界に誇る祭りへ 山・鉾・屋台行事ユネスコ遺産」(H28.12月～H29.3月放送)
37	「北野天神縁起絵巻」、「石榴天神」	2	高岡ケーブルネットワーク株式会社	「歴史都市高岡ふしぎ帖」シーズン4(H29.2～3月放送)
38	高岡売薬版木	1	富山県厚生部くすり政策課	日本遺産記者発表
39	高岡売薬版木	1	富山県厚生部くすり政策課	日本遺産申請書
40	「帆船と蒸気船」	1	富山県教育委員会県立学校課	高校生の郷土史・日本史補助教材(H29.3/31発行)
41	「高岡中古之図」	1	公益財団法人高岡市観光協会	「高岡大仏と山町筋を遊び尽くす古地図片手に城下町さんぽ」
42	「戸出野開御印状」	1	高岡法科大学准教授 本多俊彦氏	講演会で使用

⑦資料撮影・掲載 計15件

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
1	笹原文次関係資料	30	個人	調査研究
2	「高岡大都市計画図」、「高岡市附近平面図」	2	高志の国文学館	企画展「浅野総一郎－九転十起の物語」(会期：H28.10/29～12/19)
3	獅子頭・天神関係資料	21	個人	調査研究
4	『市立高岡図書館主催「昭和十一年度図書館週間 学童成績展覧会作品」図画の部』	1	個人(広島大学大学院教育学研究科准教授)	調査研究
5	東郷平八郎筆「一行書」(一対)	2	個人	調査研究
6	当館特別展「戦時下の暮らし」展示資料	16	富山県立志貴野高等学校	日本史Aの授業に使用
7	黒電話	1	個人	調査研究
8	五十嵐篤好(当館常設展パネル)、『地方新器測量法』上・下	3	個人	調査研究
9	城端蒔絵九ツ組盃	10	個人	調査研究
10	高岡市太田及び周辺地域地形図	1	富山地方方法務局高岡支局	不動産登記資料

11	当館常設展示資料	—	株式会社コムブリッジ	「日本全国はじまるスタジオ」
12	高岡銅器関連資料（当館常設展示資料）	—	帝国データバンク史料館	特別企画展「地場産業展（仮）」（H29年度開催予定）
13	「天神堂」、「寺子屋之図」、「寺子屋机」、「教科書類」	4	高岡ケーブルネットワーク株式会社	「歴史都市高岡ふしぎ帖」（H29.2～3月放送）
14	「高岡東部耕地整理組合地区及ヒ之レニ隣接スル土地ノ現形図」	1	北日本新聞サービスセンター	北日本新聞「まいたうん」2月号「たかおか歴史探訪」92（H29.2/19付）
15	清都家測量器具等関係資料	90	個人	調査研究

⑧その他の協力

- ・高岡市教育委員会学校教育課「高岡再発見プログラムⅤ」（スタンプラリー）
期 間：平成28年4月29日～12月19日
合 計：3,739人
- ・（公財）日本城郭協会「日本100名城スタンプラリー」
期 間：平成19年度～
- ・富山県観光課・高岡市観光交流課等「33富山旅特別プログラム／クーポン付き「高岡古地図」で高岡大仏&山町筋さんぽ」資料提供・監修
- ・高岡ケーブルネットワーク番組「歴史都市 高岡ふしぎ帖シーズン2・4」写真等資料提供・出演
- ・高岡旧町名復活を推進する会「高岡旧町名マップ」監修
- ・近世高岡の文化遺産を愛する会「日本遺産・高岡すごろく」監修

（9）レファレンス 92件

高岡の歴史・文化などに関わる照会・回答

（10）インターネットによる広報・普及

- ・ホームページ 年間総アクセス数 272,840件
- ・資料情報の「文化遺産オンライン」（文化庁運営）公開件数 計669件
- ・発行済の館報「博物館だより」（23件）、展示解説「博物館ノート」（10件）の公開
- ・当館公式ツイッター（フォロワー352人、ツイート2648回）、フェイスブック（いいね！1,776件、投稿318回）による広報
- ・平成29年2月4日より収蔵展示資料の撮影、ネットへの公開を個人利用に限り許可

3 収集・保存活動

（1）購入資料（計32件50点。受入順。一括資料は仮に1点と計上）

No.	資料名称	数量	分類
1	「富山県物産案内」	1	歴史
2	「昭和九年度 市立高岡図書館一覧」	1	歴史

3	『賀越能之太守利家公御夜話』上・中・下（写本）	3	歴史
4	高岡荷物駄賃定書之控	1	歴史
5	「高岡商工一班」	1	歴史
6	日本館ニュース	1	民俗
7	高岡絵葉書（関野神社、高岡公園）	4	歴史
8	北一麻布定価表	1	歴史
9	麻布相場表（北一株式会社）	1	歴史
10	「高岡付近ゆうらん」リーフレット	1	歴史
11	高岡市立伏木小学校卒業記念アルバム	1	歴史
12	射水郡二塚村文書（仮）	（一括）	歴史
13	高岡市営繕課長・武波勝平撮影写真	（一括）	歴史
14	加賀藩試鑄銭（三百文・七百文）	2	歴史
15	堀川敬周筆《飲中八仙図》	1	美術
16	景岸焼 大黒文中皿	1	美術
17	神保氏張年貢請取状	1	歴史
18	御用留（上坂家文書／前後欠）	1	歴史
19	「定山請証文之事」（上坂家文書）	1	歴史
20	銭札「高岡 鍋屋仁右衛門 三百文」	1	歴史
21	「高岡伏木間三等線路 閉塞鉄道郵便発着表」	1	歴史
22	年未詳八月二十三日付横山英盛書状	1	歴史
23	年未詳九月十日付前田利長書状	1	歴史
24	引札「越中伏木湊 海陸回漕店 栗田吉左衛門」	1	民俗
25	『はぎ女句集』沢田初枝著、池上不二子編	1	歴史
26	高岡絵葉書（公園・瑞龍寺・墓所）	6	歴史
27	絵葉書「伏木測候所」	1	歴史
28	「最新富山県地図」	1	歴史
29	高岡絵葉書（瑞龍寺総門、高岡公園（其四）御竹藪四阿屋） （画像データ）	2	歴史
30	「三箇国分間略絵図」	1	歴史
31	富札（高岡町仕法講）	1	歴史
32	絵葉書「観光の高岡」	7	歴史

（２）寄贈資料（計88件1,170点、受入順。一括資料は仮に1点と計上）

No.	資料名称	数量	分類	寄贈者
1	「国民健康保険優良乳幼児・未熟児養護選彰会表彰者名簿 高岡市」	1	歴史	梶原町自治会
2	梶原町母衣祭祀用具	87	民俗	梶原町自治会
3	梶原町出征兵士送迎旗	1	民俗	梶原町自治会

4	絵葉書「〔ミナト……伏木〕伏木町公会堂」	1	歴史	匿名希望
5	畑正吉作「羽衣」	1	美術	匿名希望
6	寺畑助之丞作「愛」	1	美術	匿名希望
7	大橋二水筆「前田利長頌徳詩」	1	美術	匿名希望
8	高岡市定塚町尋常小学校三十周年記念文鎮	1	産業	匿名希望
9	黒塗螺鈿会席膳	10	民俗	大角誠氏
10	谷道文開堂看板等資料	20	民俗	谷道俊雄氏
11	大場屋仏壇店 仏具・仏壇関係資料	573	産業	大場良吉氏
12	高瀬蒼風作「菊文錆絵軸盆」	1	美術	匿名希望
13	筏井竹の門筆「俳画屏風」	1	美術	古谷昭史氏
14	高岡市定塚町青年学校への援助願書	1	歴史	匿名希望
15	国民服（上下）	2	民俗	佐野吉宏氏
16	防空頭巾	2	民俗	佐野吉宏氏
17	ゴザマクラ・フナゾコマクラ	2	民俗	佐野吉宏氏
18	地券（越中国砺波郡沢川村字下向十番）	1	歴史	泉治夫氏
19	戦時債券類	5	歴史	泉治夫氏
20	兵隊盃	6	民俗	泉治夫氏
21	朱塗宗和膳	14	民俗	泉治夫氏
22	箱枕	2	民俗	泉治夫氏
23	角灯	1	民俗	泉治夫氏
24	軍事郵便	22	歴史	安川美樹子氏
25	古文書3件（松田家文書・熊谷家文書・医史学関係史料）	（一括）	歴史	正橋剛二氏
26	本保桂泉作象嵌花瓶半製品	2	産業	本保澄雄氏
27	梅文銀象嵌銅花瓶（本保桂泉作）	1	美術	本保澄雄氏
28	金銀象嵌ループタイ留め具（本保桂泉作）	1	産業	本保澄雄氏
29	種痘済証	4	歴史	東和弘氏
30	『千代の友』第三号	1	歴史	高田実氏
31	『伏木港』	1	歴史	高田実氏
32	富山県高岡監視隊本部 防空監視隊員指定書	1	歴史	柳澤京子氏
33	写真「高岡防空監視隊本部第三班員」	1	歴史	柳澤京子氏
34	浅野廉画・佐伯良謙賛「聖徳太子図」	1	美術	柳澤京子氏
35	浅野廉作「色絵鳳凰図平鉢 古九谷写」	1	美術	柳澤京子氏
36	島家戦功叙勲等資料	18	歴史	島寿男氏
37	タカヂアスターゼ薬瓶	1	民俗	匿名希望
38	筏井竹の門筆《竹梅図》	1	美術	北正作氏
39	前田齊泰筆《一行書》	1	美術	北正作氏
40	大橋二水筆《七絶》	1	美術	北正作氏

41	橘家文書	(一括)	歴史	匿名希望
42	石臼	1	産業	匿名希望
43	一斗枰	1	産業	匿名希望
44	江畑家文書(吉住村、戸出西部金屋村他十四ヶ村戸長)	(一括)	歴史	江畑聿英氏
45	木版資料(絵画・番付等)貼り継ぎ卷子	26	歴史	江畑聿英氏
46	第14回割増金附戦時貯蓄債券	2	歴史	江畑聿英氏
47	「第三期住居表示整備 新旧対照案内図」	1	歴史	江畑聿英氏
48	写真「現高岡市本町の防空訓練」	5	歴史	江畑聿英氏
49	タカゲタ(高下駄)	4	民俗	江畑聿英氏
50	つる付き眼鏡(縄手一山式)	1	民俗	江畑聿英氏
51	キセル(煙管)	1	民俗	江畑聿英氏
52	海軍用飯缶・薬缶	2	歴史	江畑聿英氏
53	ガラス電傘	1	民俗	江畑聿英氏
54	看板「空襲警報／警戒警報」	1	歴史	若森征雄氏
55	看板「守山町家庭防護組合事務所」	1	歴史	若森征雄氏
56	看板「待避所」(防火演習用)	3	歴史	若森征雄氏
57	木札「守山町第二防護副群長」	1	歴史	若森征雄氏
58	木札「防空当番」	1	歴史	若森征雄氏
59	防火演習用バケツ	1	民俗	若森征雄氏
60	防火演習用擬似焼夷弾	2	民俗	若森征雄氏
61	守山町戦時下各種腕章	23	歴史	若森征雄氏
62	警戒・空襲警報用吹き流し	2	民俗	若森征雄氏
63	日の丸寄せ書き	1	歴史	若森征雄氏
64	鉄兜	1	民俗	若森征雄氏
65	竹に雀文蒔絵見台	1	民俗	北野巖氏
66	宣伝用旗「桜馬場通り振興会」	1	民俗	北野巖氏
67	愛国婦人会通常会員章・証書	2	歴史	匿名希望
68	高岡市火葬場に仏像・仏具寄付感謝状	1	歴史	匿名希望
69	「今庄家秘篋 櫻霜巻」	1	歴史	古谷昭史氏
70	立野雪郷筆「水国の旅」	1	美術	古谷昭史氏
71	黒田焼 筏井竹の門絵付茶鉢	1	美術	古谷昭史氏
72	八口村国谷家文書	133(仮)	歴史	石川泰史氏
73	嫁暖簾	1	民俗	松木勇氏
74	重掛け・重蒲団	2	民俗	松木勇氏
75	高岡風景古写真	12	歴史	室崎信一氏
76	手鉤	2	民俗	千龍正夫氏
77	棹秤	1	民俗	千龍正夫氏

78	祝入営のぼり旗	1	歴史	手崎純子氏
79	日の丸寄せ書き	2	歴史	手崎純子氏
80	従軍記章	2	歴史	手崎純子氏
81	丹前	2	民俗	手崎純子氏
82	子供用着物（四ツ身紋付袴）	1	民俗	手崎純子氏
83	長着・羽織	5	民俗	手崎純子氏
84	表打蒔絵高下駄（女物）	1	民俗	手崎純子氏
85	重掛け	1	民俗	手崎純子氏
86	柳行李	1	民俗	手崎純子氏
87	森戸国次筆 高岡産業博覧会 特別ポスター原画	1	美術	唐木高氏・大寺桂子氏
88	全国の天神人形（高島賢一コレクション）	116	民俗	高島賢一氏

※登録済資料のみ掲載。ほかに調査中の寄贈資料多数。

収蔵資料分類一覧表

資料別大分類		区 分	件数	点数
I 歴史資料	776件7,521点	1. 歴史資料	776件	7,521点
II 民俗資料	1,016件6,930点	1. 衣食住	448件	3,763点
		2. 交通 運輸 通信	44件	58点
		3. 民俗芸能 娯楽 遊戯等	211件	1,601点
		4. 人生儀礼	21件	49点
		5. 交易	93件	294点
		6. 民俗知識	131件	739点
		7. 年中行事	27件	346点
		8. 社会生活	30件	57点
		9. 信仰	11件	23点
III 産業資料	455件7,834点	生産 生業資料	455件	7,834点
IV 美術資料	521件811点	1. 金工	84件	105点
		2. 漆芸	88件	169点
		3. 陶芸	50件	97点
		4. 木竹石工	4件	28点
		5. 染織	5件	5点
		6. 日本画	131件	153点
		7. 洋画・版画	41件	85点
		8. 彫刻	22件	23点
		9. 書	96件	146点
総 計	2,768件23,096点		2,768件	23,096点

※「I 歴史資料」のうち、考古資料は平成29年2月8日付で高岡市埋蔵文化財センターへ全て移管（平成29年3月末現在）

(3) 保存活動

- ・ 絵図、地図類の裏打・軸装 (絵図・地図など)
- ・ 資料収納用桐箱の作成
- ・ 収蔵庫清掃、害虫侵入対策、二酸化炭素ガスによる資料燻蒸

4 調査・研究活動

- (1) 収蔵資料及び未調査資料の調査整理 (調査・整理・登録・撮影・データベース化等)
- (2) 収蔵資料の収集・分類・整理方針にかかる調査研究
- (3) 今後の特別展・企画展・常設展にかかる調査
- (4) 各種研修会・講座等への参加 計7件
 - ・ 富山県博物館協会 平成28年度総会 (5月10日)
 - ・ 北信越博物館協議会 平成28年度総会・研究協議会 (6月16日)
 - ・ 奈良文化財研究所 平成28年度文化財担当者専門研修「中近世城郭調査整備課程」(平成29年1月16日～20日)
 - ・ 日本博物館協会 平成28年度研究協議会テーマ1「博物館の運営 ～指定管理者制度～」(平成29年2月9日～10日)
 - ・ 富山県博物館協会 郷土・歴史系分科会研修会 (平成29年2月22日)
 - ・ 日本博物館協会 平成28年度研究協議会テーマ3「博物館とコレクション ～収蔵庫を考える～」(平成29年3月9日～10日)
 - ・ 富山県博物館協会 研修会 (平成29年3月14日)
- (5) 収蔵資料情報のデジタル化による資料管理 (デジタル・アーカイブの推進)
- (6) その他の調査・研究

5 高岡市立博物館に親しむ会との連携

高岡市立博物館に親しむ会は、博物館の活動を支援するほか、高岡の歴史と文化に親しみ、相互に親睦を図る活動を行うことを目的に平成25年3月6日に設立されたものである。郷土高岡への理解を深め、市民に親しまれる新しい博物館づくりを進めている。

・ 役員会

日 時：平成29年3月24日 (金) 午後1時30分～

・ 総会

日 時：平成28年4月26日 (火) 午後1時30分～

会 場：新館3階講堂

内 容：平成27年度事業報告、収支決算報告ならびに平成28年度事業計画 (案)、
収支予算 (案)、役員の改選など

○記念講演会

演 題：「絵葉書に見る懐かしい高岡散歩」

講 師：神保成伍氏（同会副会長。元高岡市立博物館長）

・ワークショップ部会

日 時：平成29年1月27日（金） 午前10時～

・研修部会

日 時：平成29年2月23日（金） 午前10時～

・広報部会（計4回）

日 時：平成28年5月24日（火） 午後1時30分～、
6月14日（火） 午前10時～、9月23日（金） 午前10時～、
平成29年3月14日（火） 午前10時～



総会

〔事業〕

- ・「歩く博物館－1万歩ウォークで『ふるさと再発見』－」（全5回。参加者累計120人）

〔第15回〕城端曳山祭を観る

日 時：平成28年5月5日（木） 午前10時～

講 師：樽谷雅好氏（同会研修部会長。高岡市児童文化協会副会長。以下同）

参加者：33人

〔第16回〕2時間で観光する高岡の郷土史① 駅北篇

日 時：平成28年6月15日（水） 午前10時～

参加者：32人

〔第17回〕雨晴海岸と太田^{ある}を歩く

日 時：平成28年9月21日（水） 午前10時～

参加者：18人

〔第18回〕赤丸の浅井城・浅井神社を探索

日 時：平成28年10月19日（水） 午前10時～

参加者：16人

〔第19回〕万葉線で郷土史を周る②

日 時：平成28年11月16日（水） 午前9時30分～

参加者：21人



第19回 歩く博物館「万葉線で郷土史を周る②」
（専修山 専念寺の天然記念物「傘松」前にて）

- ・「千保川を呑む」③ 中流域編Ⅰ「若鶴」を味わう

日 時：平成28年11月9日（水） 午前8時～

講 師：樽谷雅好氏（同会研修部会長。高岡市児童文化協会副会長）

参加者：19人

- ・「呈茶席」(全8回。全て土曜日)

日 時：平成28年4月23日、5月7日、5月14日、5月28日、9月24日、10月1日、10月15日、10月29日
各日午前11時～午後3時

会 場：茶室「松聲庵」

協 力：近藤宗美氏（同会ワークショップ部会長。裏千家淡交会正教授）ほか

参加者累計：164人



呈茶席

- ・「高岡古文書ボランティア」＜平成27年4月設立＞(全12回。毎月1回土曜日)

日 時：平成28年4月2日、5月7日、6月4日、7月2日、8月6日、9月3日、10月1日、11月12日、
12月3日、平成29年1月7日、2月4日、3月4日
各日午後2時～午後3時30分

会 場：新館第2企画展示室

参加者累計：224人

- ・広報誌「鍛冶丸」発行

第5号(A4版、10頁、600部)

第6号(A4版、6頁、600部)

第7号(A4版、4頁、600部)

〔ボランティア活動協力〕

- ・親しむ会事業(歩く博物館5回、呈茶席8回、千保川を呑む1回)

受付等ボランティア のべ30人

- ・博物館事業(屋上開放2日間、呈茶の会2回、郷土学習講座3回)

受付・駐車場整理等ボランティア のべ22人

〔役員名簿〕

役職	氏 名	所 属	備考
会 長	太 田 久 夫	富山県郷土史会会長	
副会長	多 田 慎 一	裏千家淡交会高岡支部副支部長	
	神 保 成 伍	元高岡市立博物館館長	企画運営委員長
	晒 谷 和 子	前高岡市立博物館館長	
幹 事	荒 俣 勝 行	美術コレクター	
	稲 塚 幸 枝	高岡市美術館友の会監査	
	宇 波 真 一 郎	高岡古城ライオンズクラブ会長	
	岡 田 有 弘	岡田美術店	

幹 事	清 水 静 子	観光ガイドボランティアグループ「あいの風」代表	
	立 野 井 亮	高岡商工会議所青年部理事	
	樽 谷 雅 好	公益財団法人 高岡市民文化振興事業団評議員	研修部会長
	古 谷 昭 史	めんぼう美術	平成28年11月ご逝去
	水 上 悦 子	版画家	
	近 藤 昭 美	裏千家淡交会正教授	ワークショップ部会長
	般若 慎 一 郎	高岡市鋳物資料館館長	広報部会長
監 事	水 野 俊 雄	高岡観光ボランティアガイド「やまたちばな」	
	中 尾 光 博	高岡市立博物館に親しむ会前事務局長	

(敬称略・順不同。任期：平成27～28年度)

Ⅱ 管理運営の状況

1 職員名簿

職 名	氏 名	任 用
館 長	高 田 克 宏	高岡市教育委員会事務局理事・教育次長兼任
副 館 長	窪 田 光 彦	公益財団法人高岡市民文化振興事業団嘱託職員
監 理 主 査	野 村 匡 宏	公益財団法人高岡市民文化振興事業団職員
主査学芸員	仁ヶ竹 亮 介	公益財団法人高岡市民文化振興事業団職員
学 芸 員	宇 川 恵 里	公益財団法人高岡市民文化振興事業団職員
学 芸 員 補	北 野 晶 子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団非常勤職員
事 務 員	生 源 貴 子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団非常勤職員
学 芸 員 補	増 田 豊	公益財団法人高岡市民文化振興事業団非常勤職員
学 芸 員 補	伊 東 梨 愛	公益財団法人高岡市民文化振興事業団非常勤職員

※受付員：坂下雅美、野村明美、島寿男、山田早苗、武部千代子、橘規矩雄、本保澄雄

2 歳出予算（平成28年度事業別）

	事業名	前年度	本年度	差異
管理費	施設管理費	11,414	11,178	△236
	人件費（事業団職員分のみ）	11,946	12,533	587
	小 計	23,360	23,711	351
事業費	調査研究費	643	604	△39
	講演講習会費	357	325	△32
	資料整備保存費	4,423	4,170	△253
	特別展	902	902	0
	常設展（企画展等含む）	2,987	2,987	0
	小 計	9,312	8,988	△324
合 計		32,672	32,699	27

3 高岡市立博物館協議会

分 野	氏 名	役 職 等
学識経験者	神 保 成 伍	元高岡市立博物館館長
	日 和 祐 樹	元高岡市福岡歴史民俗資料館学芸員
	中 葉 博 文	富山県民生涯学習カレッジ砺波地区センター副所長
	立 野 井 亮	高岡商工会議所青年部理事（平成24年度歴史都市高岡委員会委員長）

学校教育	林 誠	高岡市小学校長会代表（高岡市立伏木小学校長）
	作 井 美佐子	高岡市中学校長会代表（高岡市立牧野中学校長）
	林 誠 一	高岡地区高等学校長会代表（高岡南高等学校長）
社会教育	島 谷 条 和	伝統工芸高岡銅器振興協同組合副理事長
	武蔵川 義 則	伝統工芸高岡漆器協同組合副理事長
	沢 田 健 寿	高岡観光ボランティアガイド「やまたちばな」参与
	蓑 道 子	地域女性ネット高岡福岡地区会長
	室 紀代子	高岡市PTA連絡協議会副会長

〔敬称略・順不同。任期2年（平成28年2月1日～平成30年1月31日）〕

4 高岡市立博物館条例

平成17年11月1日
条 例 第206号

（設置）
第1条 博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）に基づき、高岡市立博物館（以下「博物館」という。）を設置する。
（名称及び位置）
第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。
名称 高岡市立博物館
位置 高岡市古城1番5号
（事業）
第3条 博物館は、歴史、民俗、産業などに関する資料を収集し、保管し、及び展示して、教育的配慮のもとに一般公衆の利用に供し、その教養、調査、研究等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究を行うものとする。
（博物館協議会）
第4条 法第20条第1項の規定に基づき、高岡市立博物館協議会を置く。
2 高岡市立博物館協議会は、委員12人以内をもって組織する。
3 委員は、次に掲げる者のうちから市長が任命する。
（1） 学校教育及び社会教育の関係者
（2） 家庭教育の向上に資する活動を行う者
（3） 学識経験を有する者
4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
5 委員は、再任されることができる。
（指定管理者による管理）
第4条の2 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせる。
（指定管理者が行う業務）
第4条の3 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。
（1） 事業の実施に関する業務
（2） 利用の許可に関する業務
（3） 利用に係る料金の収受及び決定に関する業務
（4） 施設及び設備の維持管理に関する業務
（5） 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務
（開館時間）
第4条の4 博物館の開館時間は、午前9時から午後5時までとし、展示室へ入室できる時間は、午後4時30分とする。ただし、指定管理者は、必要と認めるときは、市長の承認を得て、これを変更することができる。
（休館日）
第4条の5 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要と認めるときは、市長の承認を得て、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

（1） 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日以外の日）
（2） 12月29日から翌年の1月3日までの日
（観覧料）
第5条 博物館の展示資料を観覧しようとする者が、博物館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）として納める観覧料は、無料とする。
2 前項の規定にかかわらず、特別展示等を行う場合の観覧料は、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て別に定める。
3 前項の観覧料は、指定管理者に観覧の際、前納しなければならない。
（施設の利用）
第6条 博物館の施設のうち次に掲げるものを利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。
（1） 企画展示室（展覧会等開催のため第1企画展示室、第2企画展示室及び第3企画展示室を占用して利用する場合に限る。）
（2） 茶室
（利用の制限）
第7条 指定管理者は、前条の規定により利用の許可を受けた者（以下「利用者」という。）が次の各号のいずれかに該当するときは、利用の許可を取り消し、又は利用を停止することができる。
（1） この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。
（2） その利用が博物館の目的に適しないと認めたとき。
（3） 前2号に掲げるもののほか、博物館の管理上特に必要があると認めるとき。
2 前項の規定による処分をした場合において利用者に損害が生ずることがあっても、指定管理者は、その責めを負わない。
（利用権の譲渡等の禁止）
第8条 利用者は、利用の権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。
（原状回復の義務）
第9条 利用者は、博物館の施設の利用を終了したときは、直ちに原状に回復しなければならない。第7条第1項の規定により、利用の許可を取り消されたときも、同様とする。
（入館の制限）
第10条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を制限し、又は退館を命ずることができる。
（1） 他人に迷惑をかけるおそれがあると認められる者
（2） 展示品又は施設、設備等を損傷するおそれがあると認められる者

- (3) 博物館の管理上必要な指示に従わない者
(施設利用料)
- 第11条 利用者は、利用料金として別表に掲げる額の範囲内で指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定める額の施設利用料を納めなければならない。
- 2 施設利用料は、利用許可の際、納入しなければならない。
(施設利用料の減免)
- 第12条 指定管理者は、市長規則の定めるところにより、施設利用料を減額し、又は免除することができる。
(施設利用料の不還付)
- 第13条 既納の施設利用料は、還付しない。ただし、指定管理者は、特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。
(利用料金の収入)
- 第14条 利用料金は、指定管理者の収入とする。
(損害賠償)
- 第15条 利用者は、建物その他付属設備、器具等を損傷し、又は滅失したときは、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を免除することができる。
(委任)
- 第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成17年11月1日から施行する。
(経過措置)
- 2 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)の前日までに、合併前の高岡市立博物館条例(昭和45年高岡市条例第23号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

附 則(平成17年12月22日条例第272号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。
(経過措置)
- 2 この条例の施行の日の前日までに、改正前の高岡市立博物館条例第6条の規定によりなされた許可は、改正後の高岡市立博物館条例第6条の規定によりなされた許可とみなす。

附 則(平成19年3月22日条例第17号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月22日条例第10号)抄

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、第1条及び第5条から第12条までの規定は、平成24年4月1日から施行する。

5 高岡市立博物館条例施行規則

(趣旨)

- 第1条 この規則は、高岡市立博物館条例(平成17年高岡市条例第206号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(協議会の組織)

- 第2条 条例第4条に規定する高岡市立博物館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選により定める。

- 2 会長及び副会長の任期は、委員の任期による。
- 3 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(高岡市立博物館条例の一部改正に伴う経過措置)

- 5 この条例の施行の際現に第2次一括法による改正前の博物館法(昭和26年法律第285号。以下「旧博物館法」という。)第21条の規定により高岡市教育委員会が任命した高岡市立博物館協議会の委員(以下この項において「旧委員」という。)である者は、施行日に第8条の規定による改正後の高岡市立博物館条例(以下この項において「新条例」という。)第4条第3項の規定により高岡市立博物館協議会の委員として任命されたものとみなす。この場合において、その任命されたものとみなされる委員の任期は、新条例第4条第4項の規定にかかわらず、施行日における旧委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。

附 則(平成26年3月20日条例第52号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成29年3月21日条例第5号)抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成29年4月1日から施行する。
(高岡市立博物館条例の一部改正に伴う経過措置)
- 3 施行日の前日までに、第2条の規定による改正前の高岡市立博物館条例(次項において「旧条例」という。)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、同条の規定による改正後の高岡市立博物館条例の相当規定によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。
- 4 この条例の施行の際現に旧条例第4条第3項の規定により高岡市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が任命した高岡市立博物館協議会の委員(以下この項において「旧委員」という。)である者は、施行日に第2条の規定による改正後の高岡市立博物館条例(以下この項において「新条例」という。)第4条第3項の規定により高岡市立博物館協議会の委員として任命されたものとみなす。この場合において、その任命されたものとみなされる委員の任期は、新条例第4条第4項の規定にかかわらず、施行日における旧委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。

別表(第11条関係)

名 称	施 設 利 用 料
企画展示室	1日につき 9,720円
茶 室	1日につき 4,320円

備考

- 1 冷房又は暖房利用料は、施設利用料の2割に相当する額とする。
- 2 利用に際し、入場料又はこれに類するものを徴収する場合は、施設利用料の5割に相当する金額(入場料又はこれに類するものが1,000円以下の場合にあっては、3割に相当する金額)を加算する。
- 3 施設利用料の算定に当たって、10円未満の端数を生じたときは、当該端数は切り捨てるものとする。

平成17年11月1日
教育委員会規則第39号

(会議の招集)

- 第3条 会議は、必要に応じ会長が招集する。

(議事)

- 第4条 協議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(利用許可の申請)

- 第5条 条例第6条の規定により、高岡市立博物館(以下「博物館」という。)の施設の利用許可を受けようとする者は、利用許可申請書を指定管理者に提出しなければならない。
- 2 前項の申請書は、利用期日(利用しようとする日が引き続き2日以上であるときは、その初日)の6箇月前から2週間前までの間に提出しなければならない。ただし、指定管理者が特別の理由がある

と認めるときは、この限りでない。

(利用の許可)

第6条 指定管理者は、博物館の施設の利用を許可したときは、利用許可書を交付するものとする。

(利用許可の取りやめ及び変更)

第7条 利用の許可を受けた者は、利用の取りやめ又は変更について許可を受けようとするときは、利用取りやめ(変更)申請書を指定管理者に提出しなければならない。

(施設利用料の減免)

第8条 条例第12条の規定により、施設利用料の減免を受けようとする者は、施設利用料減免申請書を指定管理者に提出しなければならない。

2 施設利用料の減免の範囲及び割合は、別表のとおりとする。ただし、指定管理者が特に必要があると認めて市長の承認を得たときは、この限りでない。

3 施設利用料の減免額の算定に当たって、10円未満の端数を生じたときは、これを10円として計算する。

(施設利用料の還付)

第9条 条例第13条ただし書の規定により施設利用料を還付する場合は、次の各号に掲げる区分に応じ当該各号に定めるところによる。

(1) 条例第7条第1項第3号の規定により、指定管理者が利用許可を取り消したとき 全額を還付する。

(2) 災害その他不可抗力により利用することができなくなった

とき 全額を還付する。

(3) 前2号に掲げるもののほか、指定管理者が還付を必要と認めるとき 8割相当額を還付する。

(補則)

第10条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日(以下「施行日」という。)の前日までに、高岡市民会館条例施行規則等を廃止する規則(平成29年高岡市教育委員会規則第4号)による廃止前の高岡市立博物館条例施行規則(平成17年高岡市教育委員会規則第39号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、施行日以後この規則の相当規定によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

別表(第8条関係)

企画展示室、講堂及び茶室の施設利用料(冷暖房利用料は除く。)を減免する場合

利用区分	減免率
市又は教育委員会の主催する場合	100%
市又は教育委員会の共催する場合	50%

6 入館者数(「小人」は中学生以下。単位：人)

①常設展「高岡ものがたりー楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアムー」

会期：4月1日(金)～平成29年3月31日(金) (開催日数308日間)

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
9,640	1,781	7,530	1,799	20,750

②企画展「幕末維新風雲通信 ～将軍家医師・坪井信良より兄佐渡養順への手紙～」

会期：4月1日(水)～5月6日(水・振休) (開催日数32日間)

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
2,111	457	2,137	534	5,239

③特別展「高岡市平和都市宣言10周年記念 戦時下の暮らし」

会期：7月23日(土)～10月10日(月・祝) (開催日数69日間)

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
3,704	609	2,731	591	7,635

④企画展「緊急延長！新たに寄贈された戦時下資料」

会期：10月22日(土)～平成29年1月15日(日)（開催日数69日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
2,440	240	2,010	211	4,901

⑤館蔵品展「新資料展」

会期：平成29年2月4日(土)～3月31日(金)（開催日数48日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
1,323	104	871	100	2,398

平成28年度総計（開催延日数526日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
19,218	3,191	15,279	3,235	40,923

過去5年間の入館者数

H23	H24	H25	H26	H27
28,609	26,469	31,400	41,832	34,644

7 当館関連記事一覧

〔平成28年〕

- 4月 9日 富山新聞「古城公園の桜 屋上から満喫／高岡市立博物館」
- 4月10日 富山新聞「高岡市立博物館で呈茶席」
- 5月 1日 富山新聞「佐渡家と高岡つながり学ぶ／市立博物館で講座」
- 5月19日 北日本新聞「文化／県内美術文化の先達／定塚武敏氏を悼む／県歌人連盟顧問 久泉迪雄」
- 6月 3日 富山新聞「姫路クエストが高岡城とコラボ／市立博物館にポスター」
- 6月 4日 北陸中日新聞「高岡城 美女キャラに!? SNSゲームで擬人化／市博物館に特製ポスター」
- 6月 4日 北日本新聞「高岡の「城姫」見に来て ゲームキャラ ポスターに／地元博物館が制作・展示」
- 6月17日 富山新聞「島田孝之の功績でミニ講座」
- 6月17日 北日本新聞「柔軟な発想でPRを／記者ぶろぐ」
- 6月28日 読売新聞「美少女キャラで高岡城をPR SNSゲームとコラボ／特製ポスター市立博物館で展示」
- 7月 8日 北日本新聞「80年前の児童作品見て／暮らしより伝わる150点／23日から高岡市立博物館」
- 7月12日 北日本新聞「美術館行政の草分け／県内初の学芸員で県博物館協会元会長定塚 武敏さん」
- 7月 北日本新聞「まいたうん「高岡産業博ゆかりの建物／外壁落下玄関封鎖／補修か移転か、めど立たず」
（凸の風景 道草くらぶ報告28）」
- 7月18日 北陸中日新聞「旬の人／高岡市立博物館主査学芸員 仁ヶ竹 亮介さん（41）歴史証明一生かけて」
- 7月24日 北日本新聞「戦時下の暮らしを伝える／市立博物館特別展／収蔵品など 一堂に」
- 7月25日 北陸中日新聞「戦時下 高岡の暮らしは／市博物館「平和都市」10周年記念展」
- 8月23日 北陸中日新聞「学童疎開 悲劇語り継ぐ 高岡市立博物館／富山近代史研・須山理事が解説」
- 9月10日 富山新聞「東郷、乃木の書初公開／高岡市立博物館」
- 10月14日 富山新聞「高岡市立博物館で古文書教室」
- 10月16日 北日本新聞「まいたうんTAKAOKA「万葉まつり子供茶会／茶道クラブ児童が呈茶／西条小学校・定塚小学校」
- 10月21日 富山新聞「高岡市立博物館でミニ講座」

- 10月23日 北日本新聞「戦争考えるきっかけに／写真や生活用品 住民寄贈の108点展示／高岡市立博物館／あの日の空 戦争と富山」
- 10月23日 北日本新聞「神保氏張の生涯解説／高岡」
- 10月23日 富山新聞「『この世界の片隅に』／松原さんの原画展示／高岡市立博物館」
- 10月29日 北日本新聞 天地人
- 11月 1日 北陸中日新聞「謎 なぞ ナゾ 記者が迫る／高岡城跡の秘密／天守閣は？堀の水源は？／「広場と神社が本丸」」
- 11月 8日 北日本新聞「築65年老朽化の高岡市立博物館／本館玄関半年間使えず／外壁材の崩落相次ぐ」
- 11月11日 北日本新聞「老朽化の外壁 月内にも補修／高岡市立博物館」
- 11月11日 北陸中日新聞「高岡市立博物館 市議が移転要望／「城跡内では改築困難」」
- 11月17日 北日本新聞「新湊の歴史歩いて見聞／高岡・博物館に親しむ会「寺の多さにびっくり」
- 11月18日 毎日新聞「戦時下の資料100点／富山・高岡で市民寄贈展」
- 11月20日 富山新聞「街を歩くと／富山大空襲 思い重ね／映画「この世界の片隅に」 高岡出身・松原さんが作画監督／高岡市立博物館 企画展（お宝コーナー展の誤り）に関心」
- 11月22日 北日本新聞「戦争考える機会に／射水市 岡野利雄（団体職員）」
- 11月30日 北日本新聞「玄関周辺外壁の補修工事始まる／高岡市立博物館」
- 12月 4日 朝日新聞「戦時伝える100点 市民が寄贈／高岡市立博物館 来月15日まで」
- 12月 4日 富山新聞「御車山と母衣武者語る／市立博物館 仁ヶ竹氏が講演」
- 12月 4日 北日本新聞「高岡御車山でかつて存在／「母衣武者行列」を解説」
- 12月 6日 日刊産業新聞「鋳物師の伝統 上／高岡に一大産業形成／創刊80周年特別企画」
- 12月 7日 日刊産業新聞「鋳物師の伝統 下／鋳製品で復活図る／創刊80周年特別企画」
- 12月 9日 北日本新聞「博物館 修繕で維持／金平直巳氏（共産）」
- 〔平成29年〕
- 1月13日 北陸中日新聞「高岡の郷土学者 五十嵐篤好に光／市博物館のミニ講座」
- 1月16日 北日本新聞「五十嵐篤好の功績を解説／市立博物館でミニ講座」
- 2月 1日 富山新聞「高岡御車山祭 5月1日／市立博物館が特別開館／ユネスコ無形文化遺産を機に／月曜の休館返上 歴史親しむ日に」
- 2月 5日 富山新聞「利長書状家臣宛てか／高岡市立博物館 新資料展で初公開」
- 2月 5日 北日本新聞「時代伝える日用・美術品／利長の書状、火鉢…」
- 2月10日 中日新聞「利長の書状など123点／高岡市立博物館で「新資料展」」

Ⅲ 施設の状況

1 沿革

- 昭和44年（1969） 市制施行80周年・開町360年記念事業として高岡市美術館（昭和26年築）に隣接して建設することを決定。
- 8月 建設設計を完了。
- 10月 建設工事を着工。
- 45年（1970） 3月 建設工事を完了。高岡市立博物館条例を公布。
- 6月 高岡市立博物館に関する規則を公布。
- 開館。
- 8月 高岡市立博物館協議会委員委嘱（12人）。
- 46年（1971） 2月 博物館法（昭和26年法律第285号）第10条の規定に基づく公立博物館として文部省及び富山県教育委員会に登録。
- 10月 淡交会高岡支部より茶室を寄贈される。
- 平成6年（1994） 4月 美術館の移転分離により、旧美術館棟を博物館棟（現本館）として財産登録。
- 高岡市立博物館条例を一部改正。
- 8月 高岡市立博物館整備検討委員会設置（以後平成10年1月まで6回会議）。
- 8年（1996） 4月 財団法人高岡市民文化振興事業団へ管理運営委託。
- 10年（1998） 2月 高岡市立博物館整備検討委員会により「高岡市立博物館整備検討委員会報告書」が高岡市に提出される。
- 10月 本館で常設展「郷土の暮らしと文化」開催。
- 14年（2002） 7月 ホームページを公開。
- 18年（2006） 4月 財団法人高岡市民文化振興事業団が指定管理者となる。
- 19年（2007） 7月 常設展を「高岡ものがたり」にリニューアル。
- 11月 高岡市立博物館整備構想検討委員会設置（以後平成21年度まで継続）。

22年(2010) 2月	高岡市立博物館整備構想検討委員会より「高岡市立博物館整備構想報告書」が高岡市に提出される。
10月	デジタルアーカイブ推進事業を開始(～平成25年3月)。
23年(2011)10月	『二上射水神社文書目録』を編集。
24年(2012) 4月	指定管理者の財団法人高岡市民文化振興事業団が公益財団法人に移行。
10月	「収蔵資料検索システム－あなたの家が博物館－」の運用開始。
25年(2013) 3月	高岡市立博物館に親しむ会設立。
4月	佐渡家資料調査事業を開始。
	常設展示室に「お宝コーナー」開設。
6月	常設展「高岡ものがたり」音声ガイド5台導入。
27年(2015) 3月	『佐渡家資料目録』を編集・発行。佐渡家資料調査事業を終了。
4月	高岡古文書ボランティア設立。
28年(2016) 9月	常設展リニューアル以後の入館者19万人を達成。

2 施設概要

所在地 富山県高岡市古城1番5号

敷地面積 1,298.6㎡

建築面積 1,214.91㎡

建築延面積 1,905.17㎡

開館 昭和45年6月1日

構造 鉄筋コンクリート造一部木造平屋建て(本館・事務棟)

鉄筋コンクリート造3階建て(新館)

〔本館〕

エントランスホールB …………… 81.00㎡

第1常設展示室B …………… 243.00㎡

第2常設展示室B …………… 145.80㎡

休憩室…………… 35.64㎡

〔新館1階〕

収蔵庫A …………… 48.50㎡

第1企画展示室 …………… 97.20㎡

〔新館2階〕

第2企画展示室…………… 145.80㎡

第3企画展示室 …………… 51.84㎡

〔新館3階〕

講堂 …………… 145.80㎡

収蔵庫C …………… 64.80㎡

展示用具倉庫 …………… 17.70㎡

〔事務棟〕

収蔵庫B …………… 48.50㎡

館長室 …………… 49.50㎡

事務室 …………… 27.50㎡

〔茶室〕

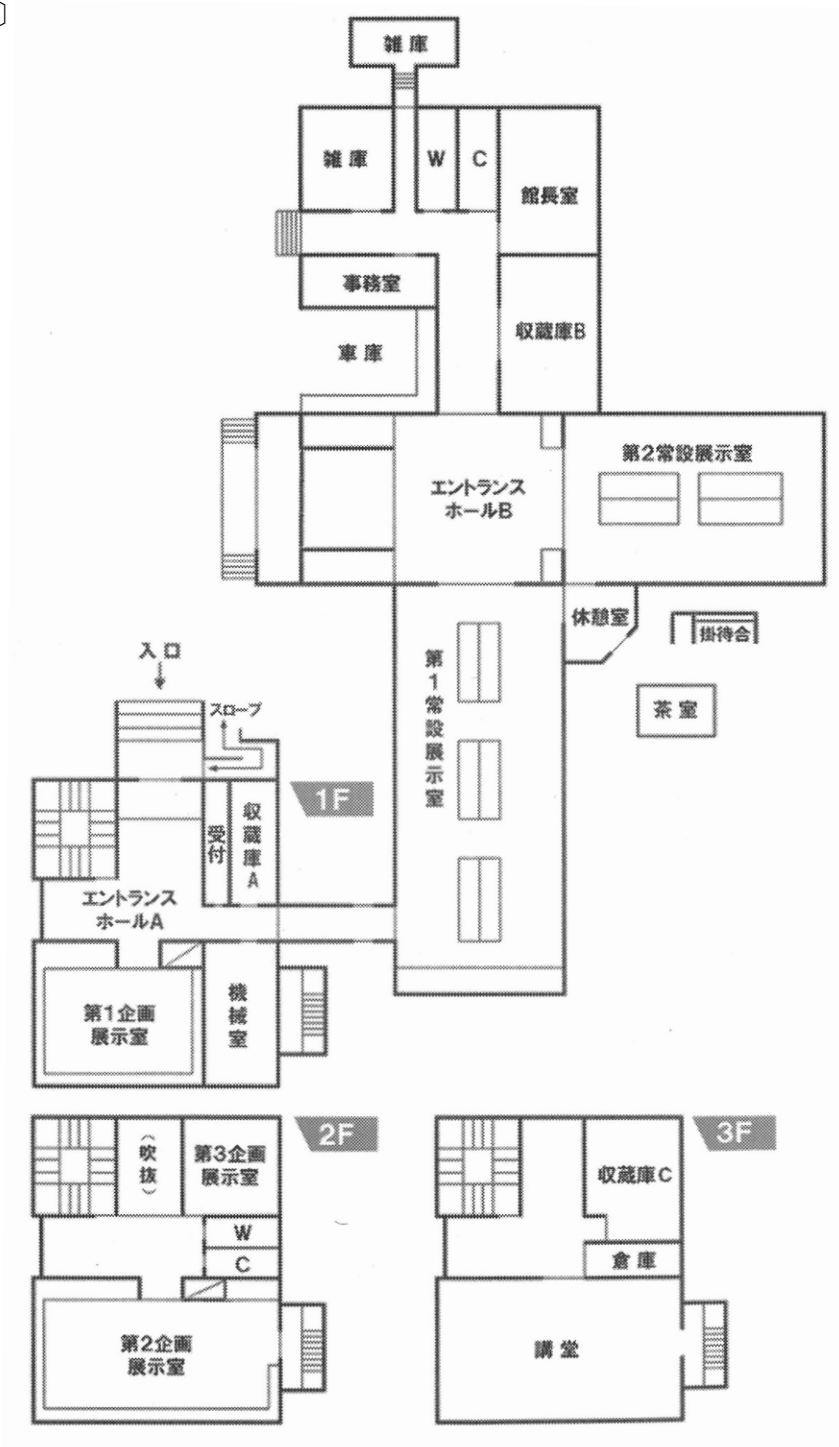
九畳本勝手下座床・水屋付き

腰掛待合 三畳半



博物館前景

〔館内略図〕



茶室「松聲庵」

3 利用案内

- ①開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
②休館日 月曜日(ただし月曜日が祝・休日の場合は開館し、翌平日が休館)
年末年始(12月29日～1月3日)

③入館料 無料

④施設利用料(税込)

〔企画展示室〕一日につき	第1企画展示室	3,240円
	第2企画展示室	4,860円
	第3企画展示室	1,620円

〔茶室〕一日につき 4,320円

⑤交通

〔JR新高岡駅より〕 ・南口バス乗り場(1番または2番)で加越能バス「高岡駅」方面(シャトル6)に
乗車、「高岡駅南口」バス停下車

・JR城端線で高岡駅へ

〔高岡駅より〕 ・加越能バス「市民病院・職安前」行き、「大手町」バス停下車、徒歩5分
・徒歩約15分(高岡駅前より北東約1km)

〔自動車〕 ・能越自動車道 高岡ICから約20分
高岡北ICから約25分
・北陸自動車道 高岡砺波スマートICから約15分
小杉ICから約30分
砺波ICから約30分

〔周辺略図〕



高岡市立博物館年報 第31号

平成28年度

発 行 日 平成30年3月31日

編集・発行 高岡市立博物館
〒933-0044 富山県高岡市古城1-5
TEL : 0766-20-1572
FAX : 0766-20-1570

印 刷 株式会社チューエツ